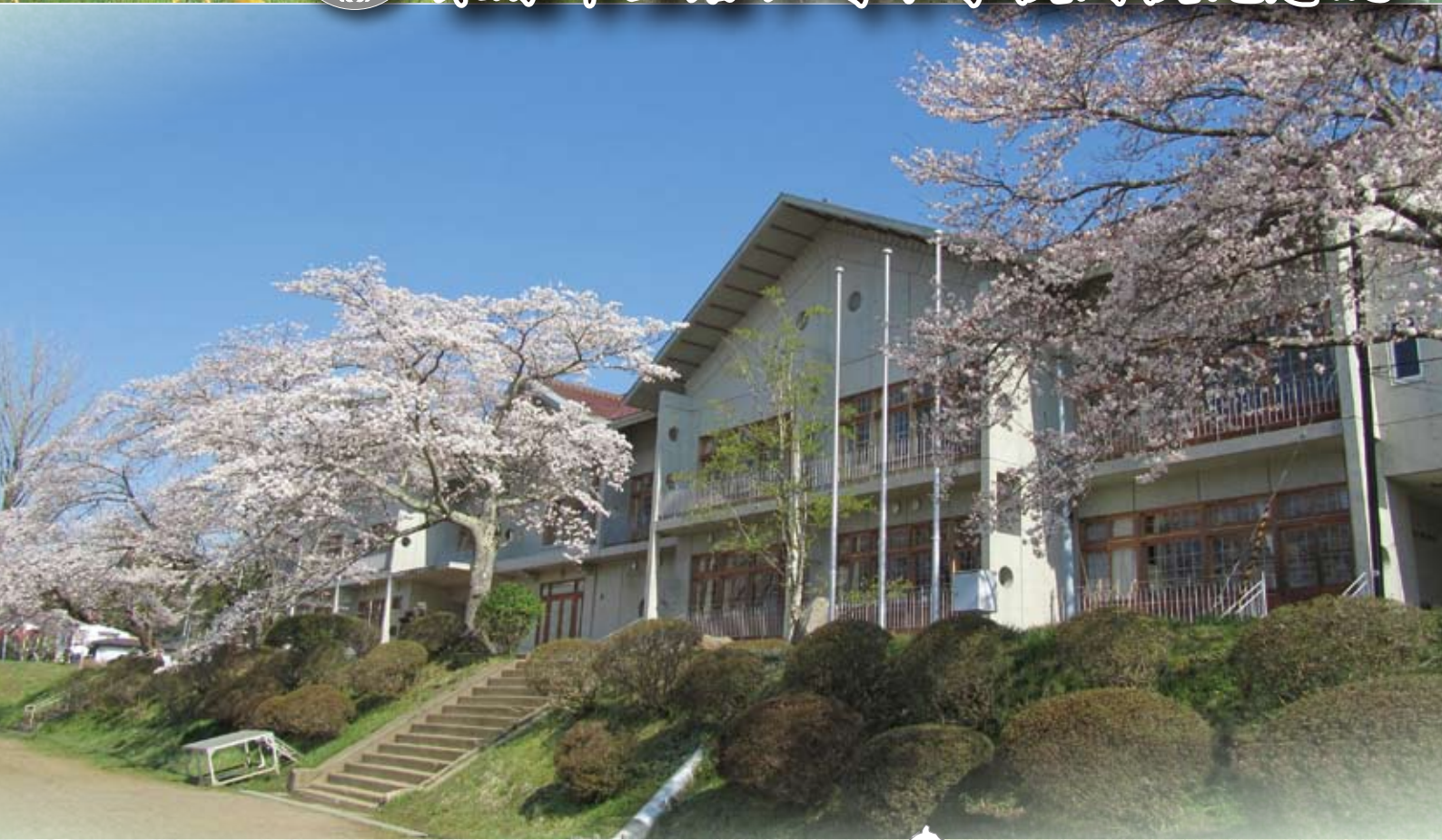




栗原市立岩ヶ崎小学校閉校記念誌



ありがとう

～みらいにつなぐ栗原市閉校記念誌～

2013.03



🎵 校歌・校章・校旗				1
📖 児童数の推移				2
🗨️ あいさつ				
	岩ヶ崎小学校の閉校に寄せて	栗原市長	佐藤 勇	3
	岩ヶ崎小学校の閉校に寄せて	栗原市教育委員会 教育長	亀井 芳光	4
	長い歴史と地域の方々に支えられて	栗原市立岩ヶ崎小学校校長	油井 広志	5
	岩ヶ崎小学校閉校にあたって	栗原市立岩ヶ崎小学校 父母教師会会長	高橋 俊彦	5
🕒 岩ヶ崎小学校沿革史				6～8
📖 学校の概要				
			学区の歴史	9
			学区のようす	9
			子どものようす	9
			校舎のようす	10
👤 歴代校長				11
👤 歴代校長・歴代父母教師会会長				12
📝 寄稿文				
～歴代校長～	今昔あれこれ	第29代校長	近江鐵太郎	13
	校舎建築の4年間	第35代校長	佐藤 澄之	13
	「岩ヶ崎小学校」に思いを寄せて	第36代校長	衡田 幸一	14
	内も外も美しい学校	第38代校長	渡邊 正幸	14
～元職員～	自学自習の種		佐々布隆一	15
	岩ヶ崎小学校は永遠に！		佐々木千早	15
	岩ヶ崎小学校は私の原点		菅原ひろみ	16
	岩ヶ崎小学校閉校にあたって		千葉 光弘	16
～卒業生～	岩小の三代の校舎にはぐくまれて	昭和13年度卒業	太宰作治郎	17
	50年前・あの日あの頃	昭和37年度卒業	佐藤美千子	17
	4年生男子の能力	昭和45年度卒業	菅原 正樹	18
	思い出の密度	昭和46年度卒業	岡本 浩一	18
	閉校によせて	昭和47年度卒業	熊谷 重城	19
	たくさんの思い出をありがとう！岩ヶ崎小学校	昭和51年度卒業	渡邊 良子	19
	未来へ向けて	昭和52年度卒業	石渡 健一	20
	ありがとう岩ヶ崎小学校	昭和53年度卒業	奈須野 毅	20
	思い出と期待	昭和53年度卒業	菅原 敬司	21
	岩ヶ崎小学校閉校に寄せて	昭和54年度卒業 岩田 美和(旧姓 菅原)		22
	宝物	昭和61年度卒業	佐藤 智章	22
	思い出	平成元年度卒業	平田 哲	23
	岩ヶ崎小学校閉校の思い出	平成3年度卒業 鈴木 由美(旧姓 佐藤)		23
	歴史の継ぎ目	平成12年度卒業	千葉由里香	24
	ありがとう！！我が母校、岩ヶ崎小学校・・・	平成17年度卒業	佐藤 智輝	24
	ありがとう、岩小	平成19年度卒業	糟川 咲帆	25
	岩小で得たもの	平成19年度卒業	大江 美鈴	25
📝 在校生の寄せ書き				
			～1年生～	26
			～2年生～	27～28
			～3年生～	29
			～4年生～	30
			～5年生～	31～32
			～6年生～	33
📷 おもいでアルバム				
			～なつかしの風景～	34
			～いろいろな行事～	35～37
			～集合写真～	38
			～思い出の校舎～	39
📝 編集後記				
		栗原市立岩ヶ崎小学校教頭	阿部 陽介	40



岩ヶ崎小学校 校歌

白鳥 省吾 作詞
片山 颯太郎 作曲

♩ = 100

あ さ か ぜ か ー お る い わ が さ き
れ き し を ほ こ る な ど こ ろ に
ぶ ん か の ひ か り あ た ら し く
つ ど い て つ ー と お ま な び や よ

岩ヶ崎小学校 校歌

作詞 白鳥 省吾
作曲 片山 颯太郎

一、朝風かおる 岩ヶ崎

歴史を誇る 名どころに

文化の 光新しく

つどいてつとむ 学びやよ

二、仰ぐ栗駒 みなもとに

清き迫の ほとりなる

豊けき里を 故郷に

むつみ我等は はげむなり

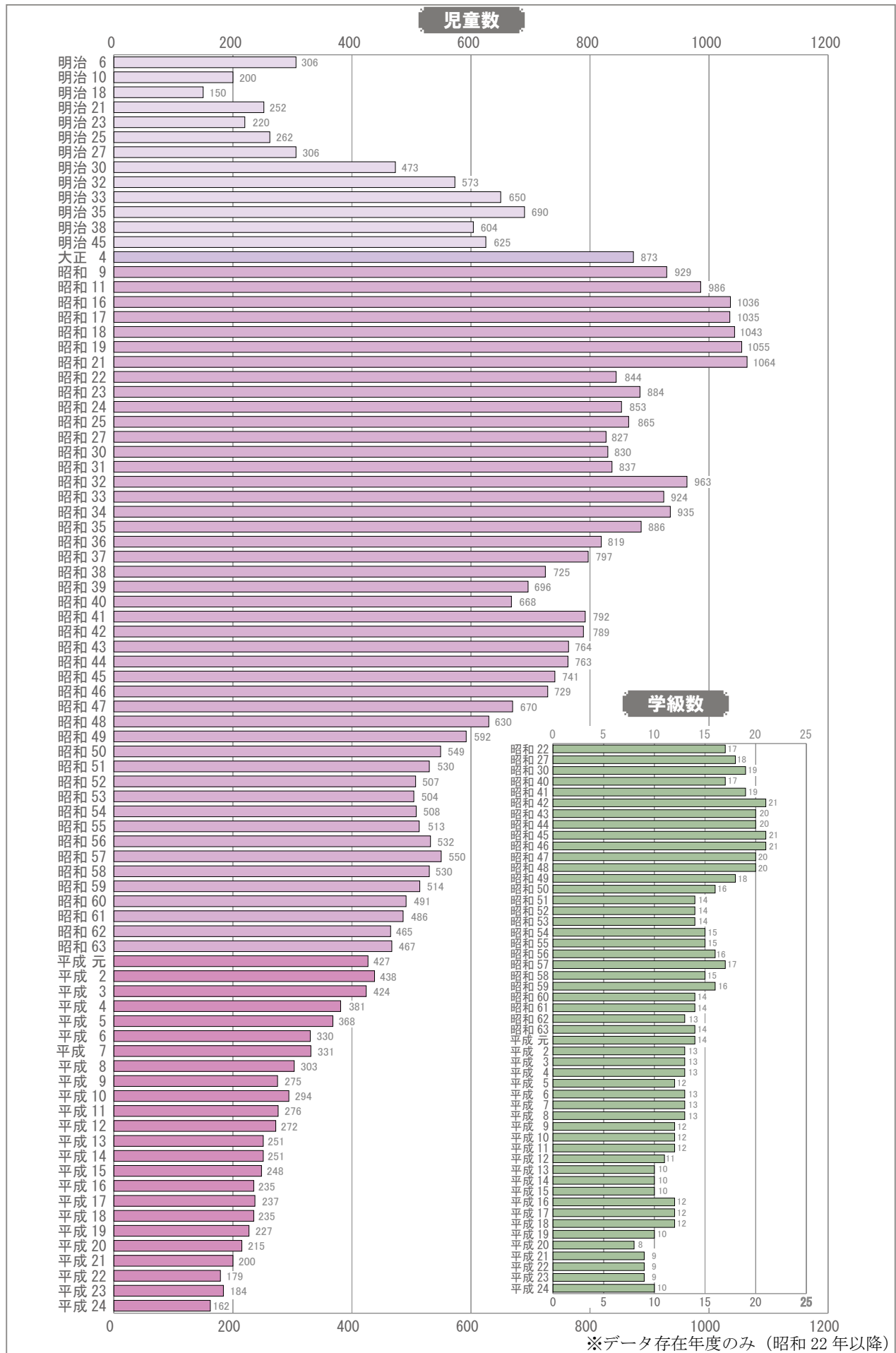
三、今ぞ明けゆく 日の本の

輝く希望 にないつつ

まことの道を ひとすじに

足なみそろえ いざゆかん





岩ヶ崎小学校の閉校に寄せて

栗原市長 佐藤 勇

清らかな白雪をいただき、おおらかな姿でそびえる秀峰栗駒山の裾野に広がる平地で、子どもたちに多くの学びを与えてきた岩ヶ崎小学校が閉校するにあたり一言ごあいさつ申し上げます。

岩ヶ崎小学校は、明治6年に「円鏡寺」を仮校舎として、開校以来140年にわたる長い歴史と伝統を築き、岩ヶ崎地区の発展と地域文化の進展に重要な役割を果たしてこられました。この間、多くの優れた人材を世に送り出し、県内外におきまして、幅広い分野で御活躍されておりますことは、岩ヶ崎地区の皆様が長年にわたる温かい御支援の賜であり、厚く御礼を申し上げます。また、歴代の校長先生をはじめ、教職員、関係者の皆様の並々ならぬ御尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

これまで、岩ヶ崎小学校は、地域に開かれる信頼と期待に応える学校を目指し、あいさつ運動をはじめ地域の高齢者との交流会や福祉ボランティア活動などを通して日常の「心と体を耕す活動」に積極的に取り組み、相手の立場に立って考え、他人に対する思いやりや命を大切にすることを育ててこられました。

さらには、確かな学力の定着を目指した指導の充実を図るため、少人数指導や一部教科担任制、寺子屋学習会など、家庭的な雰囲気の中で子ども一人ひとりを見つめ、きめの細かな指導を重視した活動を展開されてきたところであります。

このような活動は、子どもたちに自ら進んで努力する態度や協力し合い、根気強くやり通す力を身に付けることにつながり、様々な分野において全国表彰を受けるなど、長年の取り組みが認められ、地域と学校が一体となった教育が子どもたちを健やかに育ててきたものと感じております。

また、近年では平成20年6月14日に発生いたしました岩手・宮城内陸地震において、栗原市は最大震度6強を記録し、震源地に近い岩ヶ崎地区においても、大きな被害を受けました。不安でいっぱいだった子どもたちも復興に向け、一丸となって取り組んでいた矢先、東日本大震災に見舞われ、再び大きな被害を受けました。しかし、あの困難に対し大きな混乱もなく、立ち向かうことができたのは、先の震災で学んだ経験が活かされたものであると実感しております。現在、着実に復旧・復興に向け歩みを進めておりますが、未だ多くの課題が山積しております。

こうした中、児童・生徒数の減少などによる学校の再編が避けられず、岩ヶ崎小学校においても本年3月31日をもって校史を閉じることとなりましたことは、非常に残念でなりません。これまで岩ヶ崎小学校を巣立った皆様にとりましても、母校の閉校は何事にも耐え難い寂しさであり、また、地域の皆様の愛惜の念も深いものと拝察いたします。しかし、ここで歴史が終わるのではなく、これからは次代へ岩ヶ崎の歴史と伝統が受け継がれていくよう願うものであります。

栗原市といたしましても、今後、「学府くりはら」の実現に向けて、教師と子どもたちがしっかりと向き合い、学校生活に満足感や達成感がこれまで以上に得られる教育環境づくりを目指すとともに、**岩ヶ崎小学校が育んだ歴史が長く受け継がれ、新しい地域の歴史が築かれていくことを心から御祈念申し上げます、閉校記念誌発刊のあいさつといたします。**



摂取山 円鏡寺

岩ヶ崎小学校の閉校に寄せて

栗原市教育委員会
教育長 亀井 芳光

平成25年4月、岩ヶ崎小学校は栗駒小学校・鳥矢崎小学校と再編し、新生「栗駒小学校」として現在の岩ヶ崎小学校校舎のもとでスタートすることになりました。再編にあたり、ご理解とご協力をいただきました岩ヶ崎地区の皆様にご心より感謝申し上げます。

さて、私は、二度岩ヶ崎小学校に勤務させていただきました。最初は病気で入院された教頭先生の代替教員として昭和48年2月から3月までの2ヶ月弱の期間でした。当時、児童数は630名を数え、古い校舎でしたが、正面玄関に立派な衝立があり、その陰に2階へ上る広い階段があり、伝統校としての趣があり格式を備えた威風堂々の校舎だったことを今でも覚えています。二度目は平成18年4月から平成20年3月までの2年間、校長として勤務させていただきました。校舎は新しく建て替えられていましたが、昔の面影を残す建築様式であり、元気のよい子どもたち、協力的な地域やPTAの皆様、すばらしい教職員に恵まれ、私の教職員生活のピリオドとなった思い出多い学校であります。

しかしながら、岩ヶ崎小学校の児童数は160名程度まで減少し、今後も減少傾向が続く現状を踏まえ、また、急激に変化する時代に生きる子どもたちの将来を考えると、学校再編は避けて通ることはできません。再編するにあたり、岩ヶ崎小学校校舎は残りますが、これまで地域と共に歩み続けてきた学校名や校歌が変わることは、地域の皆様にとっては、寂しさや愛惜の念を禁じ得ないことと思っております。

再編後は、子どもたちも地区の皆様もこれまで脈々と受け継がれてきた岩ヶ崎小学校の輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、新しい出会いを喜び、共に学び、励ましあいながら、新しい伝統を築き上げ、「地域とともに歩む 新しい学校」の創造に向けて取り組んでいってくれることを信じてやみません。その実現のためには、地域・家庭・学校・教育委員会をはじめ関係機関との連携が大切であります。新たに仲間となる栗駒小学校・鳥矢崎小学校の子どもたち、保護者、地域の皆様との交流を深め、「再編してよかった」と語り継がれる新しい学校を創り上げていただきたいと願っております。

結びに、閉校にあたり、これまで永きにわたり岩ヶ崎小学校を温かく見守り、支えていただきました地域の皆様にご心より敬意と感謝を申し上げまして、閉校記念誌に寄せる言葉といたします。



長い歴史と地域の方々に支えられて

栗原市立岩ヶ崎小学校

校長 油井 広志

体育館から南に目を向けますと、正門からの道が四軒丁から大手通りへとまっすぐに南に向かっていきます。その正面突き当たりにかつての「くりでん栗駒駅」の面影を見ることができます。このような景色から、岩ヶ崎小学校の立地が町並みの中心に置かれていたことがよく分かります。

さて、栗原市の学校再編計画により平成25年3月31日をもって岩ヶ崎・栗駒・鳥矢崎の3校が閉校し、翌4月1日に再編による新たな学校が現岩ヶ崎小学校校舎を使って開校することになります。

明治6年7月、円鏡寺に開校して以来、学校制度の改革を経て昭和22年に「岩ヶ崎町立岩ヶ崎小学校」となり町名変更による校名改称をしながらも教育の拠点として継承されてきました。

木造新校舎が竣工した昭和9年には在籍児童数が929名でした。その後、国民学校となり児童数の増減はありながらも戦後の復興から発展へと向かう昭和30年代頃にも児童数は900名を超えていました。しかし、現校舎に改築されました平成13年には256名まで減少し、平成24年には全校児童162名で全学年が1学級の編制となりました。時代の大きな変化を感じざるを得ません。

これまで岩ヶ崎小学校を支えていただきました地域の方々や保護者の皆様、そして栗原市教育委員会をはじめ栗原市当局の関係者の皆様に心から厚く御礼申し上げます。子どもたちが「ふるさとを愛し、ふるさとを誇りに、夢を求めて、たくましく」生きていくことができますよう、これからも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

岩ヶ崎小学校閉校にあたって

栗原市立岩ヶ崎小学校

父母教師会会長 高橋 俊彦

明治6年、現在の岩ヶ崎茂庭町円鏡寺にて開校した岩ヶ崎小学校もその長き歴史の幕を下ろすこととなりました。平成25年4月、鳥矢崎・栗駒との3校統合による栗原市立栗駒小学校として新たなスタートを切ります。校舎は、現岩ヶ崎小学校を使用します。在校児童やPTA会員並びに、私をはじめとします卒業生には大変喜ばしいことです。

それでもやはり、岩ヶ崎小学校という校名がなくなることは寂しく思います。私が小学校に通っていた時分はまだ現在の校舎ではなく、木造でした。とても古い建物でしたが私は大好きでした。放課後の掃除当番、廊下で雑巾掛けレースをしてよく手にトゲを刺したこと。冬のとても寒い日、通称ブタストーブのコークス燃料になかなか火がつかず、クラスみんな交代しながら1時間も下敷で扇いだこと。すべてが昨日のここのように思い出されます。現校舎に改築されることが決まり、木造校舎の解体工事が始まった時は、何ともいえない切なさを感じたものでした。卒業生、歴代PTA会員そして地域の皆さまも岩ヶ崎小学校に対する深い思い入れと、再編へのご意見をお持ちしていることと思います。

しかし児童減少の現実の中、岩ヶ崎小学校は岩ヶ崎地域だけの学校ではなく、栗駒地区全域の教育拠点として生まれ変わらなくてはなりません。岩ヶ崎学区の子供達は新しい仲間を迎え、互いに切磋琢磨し、良き学校生活を送れるものと思います。私たちPTA会員も再編に際して、子供達の健やかな成長を応援するため、3校会員間の交流を進めるなど、より良き環境作りの準備を努めて参りました。新生栗駒小学校は今まで以上に地域に愛される素晴らしい学校になるものと思います。

最後に、子供達は地域の皆さまから多くの事柄を学び成長して参りました。これまでの長年にわたるご協力に心から感謝申し上げますと共に、今後より一層のご支援を頂けますようPTAを代表しましてお願い申し上げます。





	年月	歴代校長	沿革
明治	6. 7	初 狩野 謙治	円鏡寺において開校 児童数 306 名
	10. 2	山下 一氏	校舎狭隘のため茂庭町に分教場をおく 児童 200 余名
	11. 4	3 佐藤 蘭造	校舎火災により、八日町鈴木方を仮校舎に
	14. 10	4 宮澤 他吉	
	16. 9		五日町高橋方に学校移転
	11. 5	館脇 彌三郎	
	17. 7	6 浦田 運之進	学制改革により、高等科に列せられる
	18. 12	7 櫻井 光華	校舎新築 (11 月移転) 総工費 1,200 円 児童数 150 名 年予算 23 円
	19.		学制改革により尋常小学校となる
	20. 4	8 戸板 二郎	中野・猿飛来に分教場 児童数 165 名
	21.		児童数 252 名 裁縫専修科をおく
	22. 4	9 廣岡 直太郎	高等科設置 二分教場が本校より分離
	23. 10	佐藤 蘭造	児童数・尋常科 187 名 高等科 33 名 計 220 名
	29.		修業年限 4 年の高等小学校認可
	30.		児童数・尋常科 290 名 高等科 183 名 計 473 名
	31.		職員室増築
	33. 11	荒 泰治	児童数・尋常科 342 名 高等科 308 名 計 650 名
	34. 2	12 鈴木 武内	子守教育開始 25 名 教育費 1,965 円 40 銭
	35.		校舎増築修理 児童数 690 名
	36.		校舎大修理 (ガラス窓 校地拡張 廊下拡張) 手工科加設
	41.		尋常科 6 年 高等科 2 年となる
42. 4	13 大槻 小吾郎		
43.		高等科 3 年設置 校庭拡張 校門設置	
45.		水道敷設 農業科加設 児童数 625 名 予算 2,579 円	
大正	9. 4		講堂新築
	11. 10		開校 50 周年記念行事
昭和	11. 14	佐々木 潔	
	9. 4		校舎新築竣工 (93,051 円) 児童数尋常科 681 名 高等科 248 名
	11. 3	15 千田 大治	
	8. 16	石川 一郎	児童数・尋常科 731 名 高等科 255 名
	16. 4		国民学校令施行 特修科併置 実科女学校開校
	18. 3	17 千葉 想一	校歌制定 (白鳥省吾 作詞 片山頼太郎 作曲)
	19.		児童数 初等科 730 名 高等科 313 名
	20.		東京都杉並区高井戸第三国民学校児童 130 名集団疎開
	21.		東北帝国大学航空科分室 帝国主義的掲揚物撤去
	21.		教科書訂正 奉安殿撤去 修身国史地理停止
	22. 4	18 二階 村男	農工学校開校により高等科分離 児童数 初等科 844 名
	7.		高等科 220 名
	22. 4	18 二階 村男	小学校施行 6 ヶ年課程の町立小学校となる 学級数 17
	7.		児童数 844 名
	23. 7		父母教師会設立 放送施設設置 (りんご袋貼りにより)
	23. 19	千葉 順美	城の木こども会誕生 放送教育研究会
	25. 5		学校図書館設置
	27. 4		7 月 5 日を開校記念日と制定する 学級数 18 児童数 827 名
	9.		開校 80 周年記念式
	28.		特殊養護学級設置 岩ヶ崎幼稚園併設
	29. 4		完全給食を実施する グランドピアノの寄贈を受ける
30. 4	20 秋山 英夫	学級数 19 児童数 830 名	
10. 21	鈴木 正夫	町村合併 (1 町 5 村) により栗駒町立岩ヶ崎小学校と改称する	
34. 2		新型放送施設を寄贈される 県作曲コンクール優勝	
36. 1		宮城県学校給食優良校として県教委より表彰を受ける	
10.		全国唱歌ラジオコンクール宮城県大会で最優秀賞受賞	
37. 7		プール落成	



	年月	歴代校長	沿革	
昭和	38. 4 6	千葉 憲司	学級数 17 児童数 731 名 国語教育研究会公開（県教委指定）	
	39. 2 4	23 佐々木 茂 24 熱海 實	（兼任校長） 音楽研究指定校（県教委指定） 学級数 21 児童数 789 名	
	40. 7 10 11 12		NHK全国音楽コンクール宮城県大会において優秀賞 音楽研究公開（県教委指定） 宮城県優良子ども銀行として表彰を受ける 県教委より宮城県保健優良校として表彰を受ける	
	41. 3		中野小学校を統合する	
	42. 4 7 8 12	25 家喜 喜代治	学級数 21 児童数 789 名 NHK全国音楽コンクール宮城県大会において最優秀賞 NHK全国音楽コンクール東北大会において東北代表校に入選 岩手県幼稚園舎新築移転	
	43. 9 10		NHK全国音楽コンクール宮城県大会において最優秀賞 NHK全国音楽コンクール東北大会において東北代表校に入選	
	44. 7 9 10 11 12		補助プール増築落成 NHK全国音楽コンクール宮城県大会において最優秀賞 NHK全国音楽コンクール東北大会において優秀賞 「楽器を取り入れた歌唱指導」で学研教育賞受賞 学校給食指導により文部大臣表彰を受ける	
	45. 4 46. 9	26 多田 豊	特殊学級設置 学級数 20 児童数 732 名 NHK全国音楽コンクール宮城県大会において優良賞	
	47. 4 48. 11	27 菅原 閣郎	学級数 20 児童数 670 名 開校百周年記念式典挙行 記念事業 学級数 20 児童数 630 名	
	53. 10 54. 1 3	28 菅原 謙	学級数 14 児童数 504 名 米飯給食開始（週 1 回） 校旗の贈呈を受ける	
	55. 11 56. 4 9 10		県教委より学校保健体育優良校として表彰を受ける 学習指導研究校指定（県教委 56・57 年度） P T A 東北 P T A 連合会長賞受賞 全日本良い歯の学校賞受賞	
	57. 9 11 12		県教委指定「学習指導・国語」研究公開 県教委より学校保健体育優良校として表彰を受ける 校木として「もみの木」を指定する	
	58. 2 4 11	29 近江 鐵太郎	青少年赤十字に加盟 学級数 15 児童数 530 名 石油ストーブを全教室に設置	
	60. 4 9 62. 11	30 千葉 信一郎	学級数 14 児童数 491 名 NHK全国音楽コンクール宮城県大会において優良賞（～ 62 年） ソニー教育賞受賞（優良校）	
	平成	元. 1 4 6 10 11	31 山川 隆太郎	城の木児童会歌制定 学級数 14 児童数 427 名 ボランティア活動普及事業協力校指定 郡陸上大会男子総合優勝（男女総合優勝） ソニー教育賞受賞（優秀校）
		2. 11 3. 3 4 8		ボランティア活動普及事業発表会 児童用・職員用便所新築 学級数 13 児童数 424 名 2階教室転落防止用鉄棒設置 全国健康推進学校優良校表彰（中規模校）
		4. 11 5. 8 10		給食調理室床改修、廊下手洗い設置 教室床張り替え（3～5 学年教室） 宮城県小学校社会科研究大会（本校会場）
		6. 4 12 7. 10	33 佐々木 竝	学級数 13 児童数 330 名 人権意識高揚により表彰（法務省） 青少年赤十字活動により表彰（日赤県支部）



郡陸上大会男女総合優勝





	年月	歴代校長	沿革
平成	9. 11	34 菅原 文悦	統計教育研究協力校・統計グラフコンクール学校賞受賞
	10. 4		学級数 12 児童数 294 名
	6		屋内運動場改築工事 (6/22 ~ 3/10)
	11. 4		学級数 12 児童数 276 名 第 2 期仮設校舎建設 (教室等)
	6		校舎改築工事 (11. 6. 16 ~ 13. 3. 31)
	9		宮城県 P T A 連合会長より表彰
	11		統計グラフコンクール学校賞受賞
	12. 4	35 佐藤 澄之	学級数 11 児童数 272 名
	6		ボランティア活動普及事業協力校指定 (~ 14 年度)
	7		南校舎解体
	8		特別教室棟完成
	13. 3		管理棟完成
	4		学級数 10 児童数 251 名
	12		「心を育む教育活動推進校」指定 (県教委 13 年度)
	14. 4		学級数 10 児童数 251 名
	9		健康な口腔とよい歯の学校表彰
	12		ボランティア活動普及事業協力校実践発表
	15. 3		プール解体工事・校庭拡張
	4		学級数 10 児童数 248 名
	9		健康な口腔とよい歯の学校表彰
	12		新プール完成
	16. 3		ぶなの木植栽
	4	36 衡田 幸一	学級数 12 児童数 235 名
	9		健康な口腔とよい歯の学校表彰
	12		門柱・フェンス新設
17. 2		プレハブ倉庫 2 棟設置	
3		校庭遊具 (ぶらんこ、うんてい、鉄棒、コンビネーション) 設置	
4		学級数 12 児童数 237 名 小学校英語教育推進事業 (県教育委員会指定)	
10		健康な口腔とよい歯の学校表彰 航空写真撮影	
11		第 1 回ふれあい学習参観 (地域公開) 開催	
18. 4	37 亀井 芳光	学級数 12 児童数 235 名 小学校英語教育推進事業 (県教育委員会指定) 2 年次	
11		健康な口腔とよい歯の学校表彰 第 1 回栗原市社会福祉大会にて学校表彰	
		第 2 回ふれあい学習参観 (地域公開) 開催	
19. 4		学級数 10 児童数 227 名 小学校英語教育推進事業 (県教育委員会指定) 3 年次	
6		市ノンジェット A L T 導入	
11		第 3 回ふれあい学習参観 (地域公開) 開催 健康な口腔とよい歯の学校表彰	
20. 4	38 渡邊 正幸	学級数 8 児童数 215 名 小学校英語教育推進事業 (県教育委員会指定) 4 年次	
7		第 4 回ふれあい学習参観 (地域公開) 開催	
9		健康な口腔とよい歯の学校表彰	
21. 4		学級数 9 児童数 200 名 学力向上サポートプログラム事業 (県教育委員会指定)	
7		第 5 回ふれあい学習参観 (地域公開) 開催	
10		健康な口腔とよい歯の学校表彰	
22. 4		学級数 9 児童数 179 名 学校みどりの日記念植樹	
7		第 6 回ふれあい学習参観 (地域公開) 開催	
10		健康な口腔とよい歯の学校表彰	
23. 3		東日本大震災 (3. 11 午後 2 : 46)	
4	39 油井 広志	学級数 9 児童数 184 名 被災児童受け入れ (石巻市から 2 名 南三陸町から 4 名)	
		栗駒小学校耕英分校を岩ヶ崎小学校区に編入	
6		科学巡回訪問 (県教育研修センター)	
12		公開校内研修会 (栗原市教育委員会学力向上支援事業)	
24. 4		学級数 10 児童数 162 名	
8		除染工事	
25. 3		学校再編に伴い増築教室完成 (特別支援教室 4 図書室 家庭科室)	
		学校再編にともない閉校	



学区の歴史

本学区は、清らかな白雪をいただき、おおらかな姿でそびえる栗駒山の東に広がる平地で、三迫川の流域に広がる旧岩ヶ崎町及び旧鳥矢崎村の一部からなっている。

今からおよそ六百年前、室町時代の富沢河内守道祐が岩ヶ崎に「鶴丸城」を構えた。城は本校の北側の小高い丘の上に築城された。その後、藩政時代に入り、伊達政宗の五男宗綱に始まり、石母田、田村、古内、茂庭、中村氏がそれぞれ城主として居城し、岩ヶ崎はその城下町として栄えてきた。

昭和30年に1町5か村が合併し、栗駒町が誕生した。平成17年4月には、栗原郡10か町村が合併し栗原市となった。本学区は栗駒地区の中心地として市街地を形成し商店街となっている。

四日町、六日町、八日町などの歴史を物語る地名が今もなお残っている。

平成23年4月1日に栗駒小学校耕英分校学区が岩ヶ崎小学校学区に編入となった。

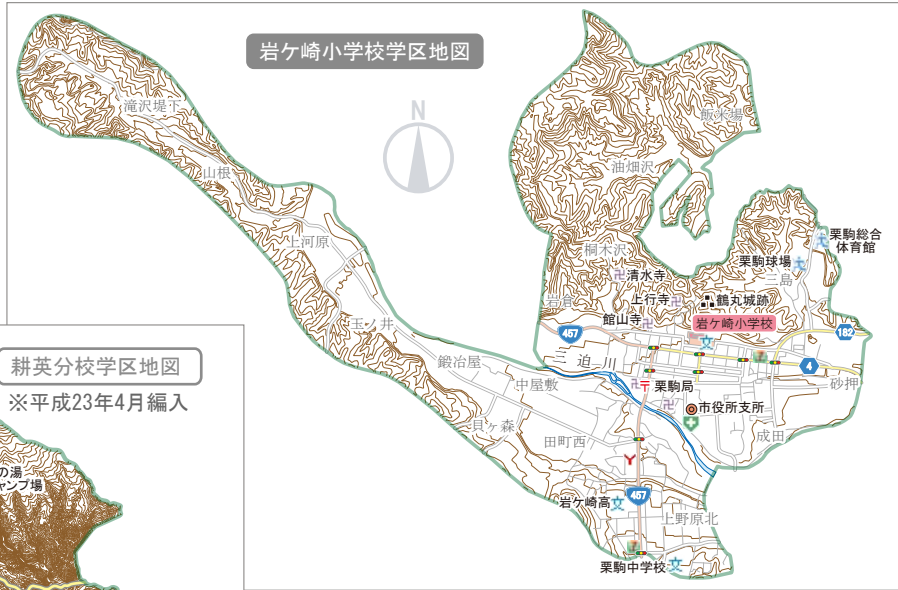


学区のようす

本学区は栗駒地区の中心地であり10地区からなっている。国道457号線や国定公園栗駒山に通じる県道栗駒中田線の鶴丸通りの交通が頻繁である。地域の交通を支えてきた「くりはら田園鉄道」は、19年3月に約86年の歴史の幕を閉じた。

商店や自営業、サービス業、中小企業、会社に従事する家庭が多い。専業農家は少なく、父母の多くは共働きである。

学校教育に寄せる思いは深く、信頼と期待も大きい。PTA活動も活発である。



子どものようす

子どもの多くは素直で明朗闊達である。あいさつ運動を始め地域の高齢者との交流会、福祉ボランティア活動などを通して日常の「心と体を耕す活動」に積極的に取り組んでおり、相手の立場に立って考えたり他人に対する思いやりや命を大切にしたりする心も育ってきている。

これらの活動をとおして、自ら進んで努力する態度や協力し合い根気強くやり通す力も身につけてきている。

下校後は、野球やミニバスケットボール、サッカーなどのスポーツ少年団の活動に参加する子どもが多い。



校舎のようす

旧校舎は、昭和9年建築の木造二階建てであった。木造校舎の温もりとやさしさを生かして、長年大切に使用していた。しかし、老朽化が進んだため校舎建築が始まり、平成10年度は屋内運動場が完成、平成11年度からは新校舎建築が始まり、第Ⅰ期工事による新北校舎（低学年棟・特別教室）と第Ⅱ期工事による給食棟の完成（平成12年8月）に続き、新南校舎（管理棟）も平成13年に完成した。平成15年度には待望の新プールが完成した。旧プール解体後拡張された広々とした校庭に、平成16年度には遊具が設置された。すべての施設設備が整い、21世紀を担う子どもを育成する学び舎が構築された。





歴代校長

- | | | | |
|------|-------------------|-------|----|
| 初代 | 明治6年7月～明治8年2月 | 狩野 謙治 | 校長 |
| 第2代 | 明治8年2月～明治10年3月 | 山下 一氏 | 校長 |
| 第3代 | 明治10年3月～明治14年10月 | 佐藤 蘭造 | 校長 |
| 第4代 | 明治14年10月～明治16年11月 | 宮澤 他吉 | 校長 |
| 第5代 | 明治16年11月～明治17年12月 | 館脇彌三郎 | 校長 |
| 第6代 | 明治17年12月～明治18年2月 | 浦田運之進 | 校長 |
| 第7代 | 明治18年2月～明治20年3月 | 櫻井 光華 | 校長 |
| 第8代 | 明治20年3月～明治21年11月 | 戸板 二郎 | 校長 |
| 第9代 | 明治21年11月～明治23年9月 | 廣岡直太郎 | 校長 |
| 第10代 | 明治23年9月～明治33年2月 | 佐藤 蘭造 | 校長 |
| 第11代 | 明治33年2月～明治34年2月 | 荒 泰治 | 校長 |
| 第12代 | 明治34年2月～明治42年4月 | 鈴木 武内 | 校長 |
| 第13代 | 明治42年4月～大正11年11月 | 大槻小吾郎 | 校長 |
| 第14代 | 大正11年11月～昭和11年3月 | 佐々木 潔 | 校長 |
| 第15代 | 昭和11年3月～昭和11年8月 | 千田 大治 | 校長 |
| 第16代 | 昭和11年8月～昭和18年3月 | 石川 一郎 | 校長 |
| 第17代 | 昭和18年3月～昭和22年4月 | 千葉 想一 | 校長 |
| 第18代 | 昭和22年4月～昭和23年9月 | 二階 村男 | 校長 |
| 第19代 | 昭和23年9月～昭和30年4月 | 千葉 順美 | 校長 |
| 第20代 | 昭和30年4月～昭和30年10月 | 秋山 英夫 | 校長 |
| 第21代 | 昭和30年10月～昭和38年3月 | 鈴木 正男 | 校長 |
| 第22代 | 昭和38年4月～昭和39年2月 | 千葉 憲司 | 校長 |
| 第23代 | 昭和39年2月～昭和39年3月 | 佐々木 茂 | 校長 |
| 第24代 | 昭和39年度～昭和41年度 | 熱海 實 | 校長 |
| 第25代 | 昭和42年度～昭和44年度 | 家喜喜代治 | 校長 |
| 第26代 | 昭和45年度～昭和46年度 | 多田 豊 | 校長 |
| 第27代 | 昭和47年4月～昭和53年10月 | 菅原 閣郎 | 校長 |
| 第28代 | 昭和53年10月～昭和58年3月 | 菅原 謙 | 校長 |
| 第29代 | 昭和58年度～昭和59年度 | 近江鐵太郎 | 校長 |
| 第30代 | 昭和60年度～昭和63年度 | 千葉信一郎 | 校長 |





- 第31代 平成元年度～平成2年度 山川隆太郎 校長
- 第32代 平成3年度～平成5年度 富安 貞夫 校長
- 第33代 平成6年度～平成8年度 佐々木 竝 校長
- 第34代 平成9年度～平成11年度 菅原 文悦 校長
- 第35代 平成12年度～平成15年度 佐藤 澄之 校長
- 第36代 平成16年度～平成17年度 衡田 幸一 校長
- 第37代 平成18年度～平成19年度 亀井 芳光 校長
- 第38代 平成20年度～平成22年度 渡邊 正幸 校長
- 第39代 平成23年度～平成24年度 油井 広志 校長



歴代父母教師会会長

- | | | | |
|------------------------|----------|--------------------|----------|
| 初代 昭和23.7.29～昭和24.3.31 | 渡辺 健一 会長 | 第16代 昭和60年度～昭和61年度 | 佐藤 利信 会長 |
| 第2代 昭和24年度 | 斎藤 精一 会長 | 第17代 昭和62年度～平成2年度 | 菅原 芳郎 会長 |
| 第3代 昭和25年度～昭和26年度 | 阿部徳一郎 会長 | 第18代 平成3年度 | 菅原 英一 会長 |
| 第4代 昭和27年度 | 大槻 重夫 会長 | 第19代 平成4年度～平成5年度 | 若林 洋一 会長 |
| 第5代 昭和28年度～昭和29年度 | 阿部徳一郎 会長 | 第20代 平成6年度～平成7年度 | 高橋 清行 会長 |
| 第6代 昭和30年度～昭和34年度 | 高橋 栄一 会長 | 第21代 平成8年度～平成9年度 | 佐藤 寿記 会長 |
| 第7代 昭和35年度 | 平田 敏雄 会長 | 第22代 平成10年度～平成12年度 | 佐藤 一郎 会長 |
| 第8代 昭和36年度～昭和37年度 | 及川 敏夫 会長 | 第23代 平成13年度～平成15年度 | 岡本 浩一 会長 |
| 第9代 昭和38年度～昭和41年度 | 高橋運太郎 会長 | 第24代 平成16年度～平成17年度 | 奈須野 毅 会長 |
| 第10代 昭和42年度～昭和44年度 | 岡本 芳治 会長 | 第25代 平成18年度～平成20年度 | 菅原 敬司 会長 |
| 第11代 昭和45年度～昭和46年度 | 菅原 保次 会長 | 第26代 平成21年度 | 石渡 健一 会長 |
| 第12代 昭和47年度～昭和48年度 | 太幸作治郎 会長 | 第27代 平成22年度 | 安藤 敏幸 会長 |
| 第13代 昭和49年度～昭和55年度 | 菅原 一成 会長 | 第28代 平成23年度 | 佐々木浩子 会長 |
| 第14代 昭和56年度 | 佐竹 栄一 会長 | 第29代 平成24年度 | 高橋 俊彦 会長 |
| 第15代 昭和57年度～昭和59年度 | 加藤 旭 会長 | | |



今昔あれこれ

第29代校長 近江 鐵太郎

退職してから28年になる。28年前の児童は40歳になり社会人として立派な生活をすごしておられると思う。今道路で5、6年生の児童に会うと頭を下げてくれる。学校の指導によるものか28年前の児童の子供なのか、いずれにしても教職であったことの冥利につきると思う。

卒業祝いに児童の名前に関係のある言葉を選び親の命名の気持ちを知らせ、名前を大切に生きるようにと色紙をあげた。

12年間の校長勤務校で児童が気軽に校長室に入り話し合いが出来るようにつとめた。週一度の朝会の話の原稿をまとめて児童に話したが、あとで校長室にやって来て確認する児童もあった。1年生の児童がそばにやってきて「校長先生のイエボロヤすか。オラ大きくなったらダイクになって、校長先生のイエナオシテヤッカ」と、45才になっている筈。どんな大工になっているか等々記録しておいたら何冊かの記録文が出来たかもしれない。

計画的に児童と校長の心の交流が出来るようになったらと、イジメが問題になっている今強く思っている。

教職にあった時出来なかった絵画創作に生活の大半の時間をかけた。よくもこんなに描いたと自分ながら驚いている。その数2000点。感覚と技法の多様さと一枚の絵を仕上げる過程で新しい発見があり面白さや苦痛があり、それに引きづられて又描くという20年あまりであったと思う。時間の操作が自由なので夜中に起き絵筆を持つこともしばしばあった。外出し景色を眺めても風景画との関連で眺めるようになってしまった。

病院、学校、市役所等から絵が欲しい話をされ、つたない絵だが選んでいただき差上げた。感謝状も15枚程いただき恐縮している。

教え子が岩ヶ崎小学校長として着任され嬉しくなり20枚程の絵を差上げた。「学校経営に協力してくれて有難い」と言われ恐縮している。



運動会（昭和58年）

校舎建築の4年間

第35代校長 佐藤 澄之

母校でもある岩小には平成16年3月の定年退職まで4年間お世話になった。

当時から将来は岩小と尾松小の二校になるのは予想していたが岩ヶ崎の校名が無くなるのは予想外のことだった。

公立の小学校は地名が付くのが自然なことであり、地域の学校で在り続ける最も具体的なことだと考えていたからである。よもや閉校記念誌に寄稿することになるとは、一抹の寂しさを覚える。

岩小には、祖父、父、母、妻、自分と三代にわたって奉職したこともあって人一倍強い愛着を抱いている。

岩小勤務の4年間は、校舎建築に翻弄された年月と言える。校長室が3回も移ったことから同じ場所に建設することの大変さは想像を超えるものであった。

その間教室は何としても確保し授業を保証しなければならない。完成した特別教室やプレハブを分割して普通教室に充てたり、和室にシートを敷いた保健室、町体育館での運動会、町内三小学校での分散水泳授業等々、やれる工夫は何でもした。

蒸し風呂のような狭い教室を割り当てられた子どもや保護者は文句も言わずに協力してくれたことに感謝している。

月に数回の学校、町、建設会社との工程会議では要望を述べ続け、年度末は教室確保や避難計画に全職員が知恵を絞った。

そんな中でプール用地が確保され退職前にはプールが完成した。お陰で200Mトラックや100M直線路も何とか確保できたことが一番嬉しかった。このことでは様々な圧力もあったがどうしても譲れなかった。

通算6年を要した校舎完成の祝いに恩師の近江鐵太郎先生が栗駒山をテーマにした絵画30点あまりを寄贈してくれた。

恩師の期待に応えられた校長であったかどうか自信はないが、退職時の安堵感は大きかったことを今も鮮明に覚えている。



新プール完成（平成15年）



『岩ヶ崎小学校』に思いを寄せて

第36代校長 衡田 幸一

青く澄み切った空には翳雲が浮かび、爽やかな風が肌に心地よい頃とされる秋分の日を迎えようとしております。

そんな中、岩ヶ崎小学校閉校記念誌への寄稿依頼をいただき、当時お世話になっていた頃のことかふつつと心に湧いてきて、何か現職当時の心引き締まるような感覚を覚えているところでございます。

さて、岩ヶ崎小学校に小生がお世話になりましたのは、平成16年度からの2年間でした。温かみのある木造の旧校舎の持ち味を、可能な限り生かした造りの新校舎が完成した直後のことでした。南北二層造りで、強化ガラスをふんだんに取り入れ、光が溢れるような明るい校舎でした。特に印象に残っていますのは、校庭側の格子戸が復元されたかのような窓の造りでした。校長室から望む南側の景色は、今でも強く心に焼き付いています。格子窓越しに桜が咲き誇り、その下方に望む校庭にはたくさん子どもたちが一人で、二人で、あるいは大勢の仲間で思い思いに遊びに没頭しているのです。その格子窓越しの情景は、正に一幅の絵を観ているかのようなようでした。

そんな「岩ヶ崎小学校」が閉校されることには、大変な寂しさを感じております。が、現校舎を一部増築してそのまま活用されるということをお聞きし、寂しさも吹き飛んでしまいました。発展的な閉校ということなんですね。時代の流れの中で、岩ヶ崎小学校学区を含めた栗駒地区内の子どもたちの教育環境をより良いものにするために、岩ヶ崎小学校父母教師会の方々並びに学区内の皆様方がご英断されたことに敬意を表します。

再編後の『栗駒小学校』のご発展と、子どもたちの益々の健全な成長を、心よりお祈りいたしております。



内も外も美しい学校

第38代校長 渡邊 正幸

赤い屋根瓦と格子窓のモダンな校舎と体育館とに肩を並べ、子ども達を見守るかのようにもみの木がそびえ立っています。岩ヶ崎小学校の輝かしい歴史と伝統を物語る校木です。また、校庭を取り巻く桜や銀杏、ツツジ、サルスベリ等は四季折々の美しさを競い合い、校舎と一体となり、正に美しい学校です。

在任中、子ども達に願い続けてきたことは、内も外も美しい学校です。内なる美しさとは、子ども達の豊かな感性です。美しく、賢く、たくましくと自己実現を図ろうとする夢や志です。

美しい心が自然な姿として表れる一つの姿は、当たり前前かがみのことが当たり前前にかできることです。一例を挙げれば、元気のよい挨拶が飛び交い、靴箱の履き物がそろっていることです。また、賢く、たくましくということでは、自分ならではの夢や志を持ち、不断に努力を続けることです。二宮尊徳翁の教え「積小為大」をことあるごとに語り続けてきました。

子ども達の一人一人が、美しく、賢く、たくましくと豊かな自己実現を図ろうと取り組み続ける日々の姿を見る事ができたことは、何よりの喜びでした。

希望を抱いた木々はほつほつと柔らかく芽ぐむ

強い自信を抱いた木々は凜として芽だつ

意欲にあふれて木々は萌え立つように芽ぶく

岩手・宮城内陸地震と東日本大震災に耐え抜いた学校は、市立学校園の統合再編により、新生栗駒小学校として新たな歴史を刻みます。その校舎、校地に学ぶ子ども達に、そして、保護者や地域の皆様に、改めて内も外も美しい学校を育み続けていただきたいと願ってやみません。



自学自習の種

佐々布 隆一

昭和61年4月から平成4年3月まで岩ヶ崎小学校でお世話になりました。陸上大会や水泳大会に向けて、子どもたちと一緒に汗を流し、練習に励んだことが思い出されます。プール開きの日には、教員チームと児童選抜チームで競泳したことも忘れられない思い出です。児童選抜チームの速さには舌を巻きました。

特に、忘れられない出来事は「一人一課題」という取り組みです。当時、岩ヶ崎小学校では、「自ら考え進んで活動する子どもの育成」を研究主題として、学力向上に取り組んでおりました。しかし、一人一人の学習活動の様子を見たとき、依頼心が強く、指示されたことや決められたことには真面目に取り組むが、自ら考え、自ら計画し、実践するといった問題解決への積極性が見られないなどの課題が毎年指摘されていました。そこで、教職員で協議し、「一人一課題」という取り組みを試みることにしました。自分の興味・関心、能力に応じて学習課題を設定し、解決に向けて計画的・継続的に取り組む課題を「一人一課題」とよび、全校児童436名が取り組みました。例えば、「1年間で物語や伝記を100冊読む」、「教科書に登場する歴史上の人物の業績を調べる」などです。「一人一課題」が日常的な取り組みになるよう担任が一人一人の進捗状況を把握し、課題解決が遅々として進まない児童には、担任がよき相談相手になり、解決に向けての励まし、意欲づけを図りました。その「一人一課題」の実践をもとにソニー教育振興財団教育論文に応募し、優秀校に選ばれ、教育資金・視聴覚機器を贈呈されました。受賞はうれしいことでしたが、子どもたちの心に自学自習の種を蒔くことができたことはそれ以上にうれしいことでした。



プール開き

岩ヶ崎小学校は永遠に!

佐々木 千早

平成25年3月をもって、「岩ヶ崎小学校」の校名及び校歌が消失するという事実は、私にとってとてつもなく大きな事件です。♪朝風かおる岩ヶ崎 歴史を誇る名どころに～♪と、この校歌を、私は3期15年間も歌い続けてきたのですから。

1期目は、昭和41年4月から同47年3月まで、小学生だった6年間。2期目は、昭和61年4月から平成2年3月まで、教師として赴任した4年間。そして3期目は、平成15年4月から同20年3月まで、出戻り教師としての5年間です。この間に、校名は「栗駒町立」から「栗原市立」へと変わり、「木造校舎」から「鉄筋コンクリート校舎」へと変わり、「講堂」から「体育館」へと変わりました。

1期目、小学生の頃の一歩の思い出は、東昇降口付近にあった大きなもみの木の周りで、時間が経つのも忘れて、友達と一緒に鬼ごっこに興じていたこと。2期目は、何と言っても平成2年3月の卒業式。講堂に通じる廊下に、3本の優勝旗を並べて飾り、卒業生の入退場に花を添えました。その3本は栗駒町相撲大会での優勝旗、栗原郡陸上体育大会での総合優勝旗、そして教員チームが栗駒町の野球大会で獲得した優勝旗でした。3期目は、平成15年から17年まで、北部陸上大会の400mリレー男女アベック優勝3連覇を果たしたことです。子ども達の無限の可能性を、肌で感じることができました。

母校に奉職することができたこの9年間で、今の私の大きな核となっています。素敵な子ども達と出会い、素晴らしい保護者と共に語り、諸先輩方に導いていただいた事実は、私の中から消失することは決してありません。心の奥にしっかりと刻まれています。岩ヶ崎小学校を介し多くの人と結んだ絆は、未来に向けて、より太く紡いでいきます。

母校に奉職することができたこの9年間で、今の私の大きな核となっています。素敵な子ども達と出会い、素晴らしい保護者と共に語り、諸先輩方に導いていただいた事実は、私の中から消失することは決してありません。心の奥にしっかりと刻まれています。岩ヶ崎小学校を介し多くの人と結んだ絆は、未来に向けて、より太く紡いでいきます。

岩ヶ崎小学校の思い出は、永遠に、人々の心のミュージアムに飾られるはずです。



400mリレー男女アベック優勝3連覇



岩ヶ崎小学校は私の原点

菅原 ひろみ

今改めて振り返ると、教師としての私の原点は岩ヶ崎小学校だったと思えてなりません。

栗原市北部の中心校である岩ヶ崎小学校が、学校再編によって閉校になるとは夢にも思いませんでした。私の小学校時代と娘の小学校時代、そして教員として勤務した6年間、合わせて18年間もお世話になった母校がなくなってしまうことが、残念でなりません。

小学校1・2年の担任は二階堂友先生。明るくて豪快に笑う音楽の先生で、合唱の指揮をする姿がとともすてきでした。友先生にあこがれ、いつか私も合唱の指揮をしてみたいと子ども心に思いました。5年生の担任菅原昌子先生は、勉強が分かるまで粘り強く教えてくださる熱心な先生でした。頑張ったことを認め、ほめていただきました。先生のお陰で、勉強の嫌いだっただ私が粘り強く努力することの大切さや学ぶことの楽しさを知りました。やがて大人になり、昭和62年度から平成4年度までの6年間、私は教員として岩ヶ崎小学校に勤務させていただきました。音楽主任として合唱指導にあたり、多くの子ども達と音楽を通して本気で触れ合う経験をしました。合唱コンクールに向けた夏休みの練習の時には、私の子ども時代の姿や二階堂友先生の姿が重なり、深い感慨を覚えました。



学芸会 合唱（昭和63年）

現在、私は岩ヶ崎の自宅から市内の小学校に勤務しています。かつての教え子と当時を振り返り思い出話に花を咲かせることがあります。岩ヶ崎小学校の古い木造校舎で四季の移り変わりを感じながら、すばらしい先生方や友達と出会い共に過ごした子どものころが、教師としての私の原点です。今年度で岩ヶ崎小学校は閉校してしましますが、私の心の中でずっと生きていくと信じています。そして、どんな困難の中でも、夢や志をもって前向きに生きることの大切さを、目の前の子ども達に伝えていきたいと思います。

岩ヶ崎小学校閉校にあたって

千葉 光弘

岩ヶ崎小学校は、昭和56年4月に私が新任教員として初めて赴任し、教員生活のスタートを切った学校です。当時でも珍しい立派な木造校舎で、廊下や階段の手すりはよく掃除され、黒く輝いていました。校庭は校舎より一段低いところにあり、子ども達の元気に遊ぶ姿を2階からよく観ることができました。

赴任当初、校舎の裏から聞こえる猫のような大きい鳴き声を不思議に思いましたが、「孔雀」を飼育しているとの事でしたので、早速行って見ました。そこには、動物園にいるようなとても美しい孔雀が堂々と存在しており、その気品ある姿に大変驚きました。

学校では宮城県教育委員会より国語科の研究指定を受け、予習的課題を活用した文学作品の読解力を高めるため、指導法の研究に取り組んでいました。当時は『で・と・に』学習と呼んで、一人『で』考え、みんな『と』話し合い、先生『に』教わる、というサイクルで学習を進め、授業研究会を何度も行いましたし、公開研究会にも携わることができました。多くの先生方のすばらしい授業を参観させていただいたり、実践を通して教えていただいたりしたことは、今でも教材研究や授業づくりの基本であり、私にとっての貴重な財産です。

児童は明るく素直で、栗駒町の相撲大会や水泳大会、栗原郡の陸上大会などでは練習に一生懸命に取り組み、すばらしい成績を収めました。またスポーツ少年団の野球やサッカーも盛んでした。私は学生時代サッカーをしていましたので、時々サッカー少年団の練習にも顔を出し、一緒に体を動かしたことが、昨日のように思い出されます。



授業風景（昭和57年）

あれからもう30年以上の月日が経ちますが、私が教員として多くの資質を身に付けることができた、思い出多い3年間でした。来年から新たな学校としてスタートするということですが、それぞれの学校の歴史と伝統がよりよい形で融合し、新しい学びの場として、地域とともに益々発展することをご期待申し上げます。



岩小の三代の校舎にはぐくまれて

昭和13年度卒業 太宰 作治郎

カラン、カラン、カランの鐘の音「学校に遅れるよ。」と言う声と共にカバンを持って飛び出して行く、毎朝の情景が今も遠い懐かしい思い出として蘇って来る・・・岩ヶ崎小学校。

私は昭和7年現在の校庭に建つ古い木造の校舎に入学。校舎は廊下や階段が歩くたびにギシギシ音がし、1年生は2階へ登るのを禁止され、冬には暖房として木造りの四角な大きな火鉢に炭火が赤々と燃え、周りに昼食の弁当が温められていました。

昭和9年に赤瓦で白壁の立派な校舎が完成。長い廊下を走っては叱られ、毎朝米ぬかの袋で磨いていました。暖房も鋳物のストーブに替り、授業を告げる鐘もベルに、後にチャイムに替りました。春は写生・野外授業で蛭子公園に、夏は鞆を投げ捨て水門で泳ぎ、秋は裏山で茸取りや栗拾い、冬は坂道でソリや竹スキーで遊び「少し勉強なさい。」と叱られた事など懐かしく思い出されます。岩ヶ崎小学校卒業後仙台・東京と学業で岩ヶ崎を離れ、太平洋戦争になり学徒動員中、一時帰宅し岩小が空襲を避ける為、壁が真黒く塗られ驚きました。

岩小との絆も子供達へと変わり、学校行事、PTAも妻が役割を引受けていましたが、昭和46年私がPTA会長を御引き受け致し、昭和48年岩ヶ崎小学校開校百周年記念行事を企画、実行委員会を設立、実行委員長に就任。先生、会員の御協力を頂き資料の収集編集を行い各教室や講堂へ展示。記念事業として戦時中供出した正門の鉄扉を設置、記念植樹を行い、又町内外の関係者を御招待、記念式典と祝賀会を開催した事等思い出として残って居ります。

私達は長年岩小の前に住み、朝な夕な岩小を眺めその環境に溶け込んで過ごして来ました。木造の初代の校舎、昭和9年の白亜の校舎、現在の三代目の校舎と変わり、我が家も私達子供達孫達と幾世代に渡り岩小の鐘の音と共に成長し育まれて来ました。今後岩ヶ崎小学校の名前が変わっても、末永く見守って参りたいと思います。

開校百周年記念(昭和48年)



50年前・あの日あの頃

昭和37年卒業 佐藤 美千子

昭和32年4月、入学児童数156名3クラス編成でスタート。平成12年に取り壊しとなった思い出の校舎には、当時約1000名の児童がひしめき合っており、現在も地元栗駒在住者数40名超の私達同級生。

今回その仲間の一人を通じての原稿依頼だったこともあり、数人の仲間と半世紀も昔の小学校時代をちょっと振り返ってみたところ、なんとまあ話題の豊富なこと!!

「低学年の時は黒っぽい上蓋付きの二人用の机だったから、真ん中に下敷きを立ててよく隣の席の人と境界争いしたよね。」「給食のミルク(脱脂粉乳)が嫌でよく残したな。」「私はコッペパンだった。」「あの当時給食って珍しくて、他からは羨ましがられたんだよね。」「講堂にでっかい切り株あって、よく滑って遊んだよね。」「正面玄関の階段の手すりもよく滑ったよね。」「控え所でも随分遊んだっちな。」「あの切り株って今伝創館にあるんだよね。」「伝創館って言えば、あそこにある大沼かねよ氏の絵が、あんな価値のある物だなんて知らないで、随分ボールぶっつけたりしたよね。」「掃除当番で、冬の講堂の雑巾がけは嫌だったよね。」「夏はみんな横に並んで雑巾並べて一斉に拭き出すのが面白かったけど、足の速い人の隣だとしていけなくて、思いっきりころんだりしてね・・・。」等々。

学芸会では各学年【劇】【合奏】【遊戯】と3個の出し物があるのだけれど、何せ人数が多いものだから、6年の時に初めて劇に出る事になった私のセリフ。たった一言「確かそうなのね。」

高学年【鼓笛隊】で町の中を練り歩いたこと。まだ新しい放送室で、朝昼の放送を流したこと。3泊4日の渡波での臨海学校・・・思い出は尽きることがありません。

これまで小学校卒業時の同級会を開いた事の無い私達ですが、この3月、岩ヶ崎小学校の長い歴史の幕が下りる前に集まって、当時の思い出を再び辿るつもりでいます。



4年生男子の能力

昭和45年度卒業 菅原 正樹

NHK 全国学校音楽コンクールの朝、送迎バスのガイドさんが車内へ乗り込んだ瞬間「はっ」と声にならない声と目を大きく見開いた驚きの表情。車内に居た子供たちは全員が真っ白なマスクをしてじっと前を見据えて座っている。誰一人として無言のまま声を出そうとしない。岩ヶ崎小学校合唱班は昭和42、43、44年度の3年連続宮城県優勝、2年連続東北大会優勝を果たしています。現在のコンクールのプログラムにも歴代優勝校として名を連ねています。バスの中の異様な光景は、会場まで喉を守るための工夫なのです。そこまで神経質にならなくてもと思われるでしょうが、そこに到るまでの練習はそれ相応のものなのです。毎日授業終了後、自分の椅子を持って講堂のピアノの前に並び7時まで、5時頃に給食室からパンの耳をもらい、皆でほおぼります。パサついたそれは、それでも十分に美味しい御馳走でした。日曜も夏休みも無く毎日続けられました。真っ暗な校舎と帰り道は怖かったけれど、誰も休むことなくむしろ楽しくて仕方なかった。三部合唱をするのですから4年生の自分にとって隣の人が違う音程で歌っている事はなかなか難解です。自分の出している音が行方不明になってしまうのです。しかし4年生男子の学習能力は優れたもので、隣の音がないと自分の音が分からないという逆転の状態を経験することになります。人の声が幾重にも重なって美しく響き合っているそのなかに包み込まれる自分に、その一員である事に感動するのです。きっとその頃の自分にはこれが感動というものだと明確にとらまえ言葉にする事は出来なかったでしょうが、何やらともかくも心が大きく揺さぶられる事実は体感していた事に間違いありません。指導されていた先生方が私たち子供に伝えたかったであろう人の繋がりによって生み出される調和の美しさ、それによってもたらされる感動のすばらしさを教えていただきました。

思い出の密度

昭和46年度卒業 岡本 浩一

元禄7年(1694年)の古地図によると当時の鶴丸城跡に現在の岩ヶ崎小学校が立っております。明治6年(1873年)の開校から数えて140年余り、岩小は幾度か姿を変えながらも城下町岩ヶ崎のシンボルとして愛され、多くの人材の礎を築いてきました。その岩小がこの度の再編計画により長い歴史に幕を閉じることとなりました。昭和41年(1966年)、私が入学した頃はまだまだ物の豊かな時代とは言えませんでした。急速に高度成長へと向かっていることを肌を感じた時代だったような気がします。まだまだ仙台、東京に行くのにお金も時間もかかった時代、多くの事をこの町で済まさなければならなかった時代、栗駒の駅そして町の商店街は賑わい、2つあった映画館の帰り客はその足で飲食街へと繰り出したりもしたものでした。町の人口はその数を少しずつ減らしてはいるもののインフラ整備は着々と進み、子供心にも日に日に発展していく町の変化を嬉しく感じておりました。誰もが疑いもなく明るい21世紀を信じていた、そんな時代だったような気がします。

入学した当時、岩小の児童数は700人を超え、昭和9年(1934年)に建造された木造2階建ての校舎は威容を誇り、そこから醸し出されるアカデミックな雰囲気一抹の不安を感じたものでした。しかしそんな不安は同じレベルの同級生たちによってたちまちどっかへ吹っ飛ばしてしまいました。40年経った今、ふとした瞬間に脳裏を掠める思い出の数々、いつも賑わっていた校庭、休み時間のドッジボール、朝礼の時間に見上げていた講堂の大沼画伯の作品の数々、暗幕の隙間から西日が差し込んできた夕暮れ間近の秋の学芸会、そんな中、揺らめくような「ドナウ河のさざ波」を演奏していた上級生の姿は幼かった私にとって近寄り難い年の差を感じるとともに、ひときわ輝いて見えました。共有できる思い出、記憶の角度は人それぞれですが、代え難い、掛け替えのない月日の積み重ねであったと懐かしんでおります。

講堂と奉安殿



閉校によせて

昭和47年度卒業 熊谷 重城

私たちの学年は、1967年4月に入学し、1973年3月に卒業いたしました。岩小在籍中はどの学年も3クラスで、私たちの同期は120数名いたので各クラス41～42名だったと思います。その時の校舎は、今はなくなったあの木造の建物です。

課外活動のようなものは何もなかった時代でしたので、低学年から放課後は勝手に校庭を占拠して野球もどきなどに興じておりました。不思議なことに場所取りでトラブルは皆無でした。最初のうちは普段着でするのが当たり前でしたが、学年が進むにつれ、次第にユニフォームを着るようになるとさすがに大人の目にとまるようになりました。5年生の時だったと思います。スポーツ少年団という初めて聞く言葉を使って我々に接近してきた方が現れました。その後はこの方に監督になっていただいて活動していました。監督は現在宮城県のスポーツ少年団の重鎮としてご活躍です。

私は高校卒業後、家を離れてしばらく東北各地を転々として過ごしてきましたが、1997年にほぼ20年ぶりに栗原郡内に戻って参りました。丁度そのタイミングに合わせたように、岩ヶ崎に在住している友人の呼びかけで、改めて岩小の同期の会を結成し名簿の編纂、総会の開催などを行って親睦を深めているところです。活動内容の主なものには飲食と釣りがですが、それにしても、意外にも岩ヶ崎に残って活躍している諸氏が多いのには驚きました。私たちの親は丁度六日町の商店主が多い時代でしたが、現在はその一つ下の世代が店や会社を切り盛りしており隔世の感がいたします。自分の同級生が岩小を含め各地の学校の教頭先生を務めているのですから当然ではありますが。

今回は形の上では閉校ということですが、実際には周辺の小学校の児童が集まってくることになり、ますます賑やかになることかと存じます。これを機に岩ヶ崎小学校の一層のご発展を心からお祈りいたします。

たくさんの思い出をありがとう！岩ヶ崎小学校

昭和51年度卒業 渡邊 良子

春、桜の木の下を通り二宮金次郎像の前を大きなランドセルを背負い、親と手をつなぎ入学式へと歩く。何年も繰り返す光景。私もその光景の中に存在していました。我が家では母、夫、私、娘二人と「親子三代」五人が岩ヶ崎小学校にお世話になりました。

夫と私は同級生で1年生の時同じクラス。入学式の写真には一緒に写っており、子ども達に「どれがお父さんとお母さんでしょうか？」なんて聞いて楽しんだりもします。

私が小学校の頃は木造の古い校舎で、転ぶとトゲが刺さって痛い目にあいました。古い校舎は今でも時々夢の中に出てきます。

春は土曜日の午前授業の後、皆で裏山に行ってお弁当を食べました。校庭には遊具がいくつもあり、ゲームなどなかった時代で遊び場といえば小学校でした。夏はプールで真っ黒に日焼けし、秋は榎の木の下でどんぐり拾い。冬は雪合戦をして遊び、教室のダルマストーブで冷たい手を温めたものでした。いつも何人かの友達で行動をともにし、仲良く遊んだ記憶があります。

ダルマストーブといえば高学年になると日直がストーブ当番です。用務員室から新聞紙・たきぎ・コークスをもらい、順番にくべ、帰りはこれを消す仕事がありました。

これらの話の中で忘れてはいけない人。それは先生方です。時には優しく見守り一緒に行動し、時には厳しく指導し、げんこつなんて何のその。けれどそこには「愛」がありました。学校では第2の親として育てて頂いたと思っております。長い歴史の岩ヶ崎小学校が、今正に幕を下ろそうとしていますが、今もそれを受け継いだ先生方が頑張っておられます。その学校がなくなるのは寂しいし悲しい事ですが、また新たな時代の幕開けとなり、生まれ変わっても尚、同じ光景が繰り返されることでしょう。楽しい思い出をありがとう！たくさんの卒業生と共に忘れないよ。岩ヶ崎小学校！



修学旅行（昭和50年度）



未来へ向けて

昭和52年度卒業 石渡 健一

栗原市立岩ヶ崎小学校の閉校にあたり寂しさと未来に向けての大きな希望に想いをめぐらせています。まずもって明治6年の開校より世代を引継ぎ岩小を情熱を持って支えて下さった先生方・学校関係者そして地域の皆様に敬意と尊敬の念を捧げたいと存じます。



学芸会（昭和50年）

閉校にあたっての原稿を依頼され改めて岩小の歴史はどうだったのだろうと思い何か参考資料は無いかと考え「栗駒町誌」を開いてみました。岩小を初め当時の全ての小学校の沿革等記載されており、読み進めますと先人の方々の偉大さに只々深く感銘するばかりです。

私事ですが岩小の沿革にそって家族の事を合わせてみますと、故人ですが祖母の入学当時は真新しい講堂で遊べた様ですし、父は戦後まもなく町立岩ヶ崎小学校となった時に入学、私は入学して早々創立百周年事業があった事等です。そして平成13年からPTA会員となり地区子供会役員を経てPTA

執行部役員として活動させて頂きました。その時の一番の思い出は、やはり企画段階から行う「PTA祭り」です。私の時には救命救急講習をし、はっと汁を食べレクリエーションをしました。親子の笑顔があふれる素晴らしい行事です。昨年度は栗駒・鳥矢崎小学校の方々も参加して開催された様です。この先も長く続けて欲しい行事の一つです。岩小でのPTA活動も一昨年で終わり、ほっと一息と淋しさを感じています。

最後になりますが昭和38年発行の「栗駒町誌」第5編、教育・文化より「岩ヶ崎小学校教育目標(抄)」に素晴らしい文言がありました。この先も続いて欲しい目標なので一部抜粋させて頂きます。「明朗で豊かな人間性でユーモアを解する事ができる。」「社会のでき事によく注意し、また理解につとめ世界平和の事について努力する。」

今日まで、あゆみ続けた貴重な歴史が糧となり次世代に引継がれます様ご祈念申し上げます。

ありがとう岩ヶ崎小学校

昭和53年度卒業 奈須野 毅

平成25年春、岩ヶ崎小学校は140年にも及ぶ歴史に幕を閉じ、新生「栗駒小学校」と名称を変え、生まれ変わります。

新生「栗駒小学校」では、岩ヶ崎・栗駒・鳥矢崎地域の子ども達が、ともに学び遊び、仲間との絆を深め、新たな伝統・歴史を刻み始めます。三つの小学校が一つになることに対し大きな期待をするとともに、地域の宝である子ども達の健やかな成長、そして同校の発展を願っております。

私の岩ヶ崎小学校での思い出は大きく分けて二つあります。

昭和48年木造の旧校舎に入学し、コークスのストーブで暖を取り、裸足で廊下を走ろうものならば容赦なく襲ってくる「とげ」との戦い、「理科室の地下にはオバケが出る」と聞くや探検開始など、日々を共にした友達との楽しく素敵な思い出など、30年以上たった今でも色あせることのない宝物です。

時は経ち、平成13年に新築された現校舎には私の三人の子どもが通いました。新校舎の建設中は仮設校舎が校庭に建ち、運動会は狭い校庭での開催を余儀なくされるなど、「なんで、こんな不自由な思いをさせてまでこの場所に学校を建てるんだ」との声が上がったのを思い出します。ですが、新校舎に移った時の子ども達のキラキラと輝く瞳、喜びに満ちた笑顔に、子どもはつねに前を向き、これから起きる出来事に期待を膨らませ、未来をまっすぐ見つめ生きていることを教えられました。私の子育てに対する重要なヒントとなったことを思い出します。

まさに今新しい歴史が始まります。三つの地域から、私たちが通った場所に、子どもが通った校舎に、多くの子ども達が明日を夢見ながら登校してきます。地域の一員として岩ヶ崎小学校の卒業生として、これからも子ども達を見守り続けたいと思います。

思い出と期待



特別教室（作教室）

む中央階段、西側昇降口に行くには渡り廊下を潜るように階段を降りて登って、その渡り廊下を通して出入りした講堂、校舎北側の畳敷きの集会室（旧作教室）、保健室や音楽室、毎日美味しい給食を提供してくれた調理室、掃除の時には校舎1階東側に管理人さんが居て、冬の寒い時などはバケツにお湯を貰いに行ったっけなあ～etc、様々な語り尽くせない思い出のある校舎も、私の子供達が通う平成12年頃には、老朽化により改築となりました。その際には、卒業生として改築工事に関わることが出来、そしてまた、保護者としてPTA活動で母校に恩返しが出来たことに、感謝と喜びがあります。「朝風かおる岩ヶ崎、歴史を誇る名どころに、文化の光新しく、つどいてつとむ、学びやよ」と校歌にもある「学び舎」が今回「校名と校歌」が変わることには、仕方がないと思う反面、とても寂しく思います。

明治6年7月、岩ヶ崎円鏡寺を仮校舎として産声を上げた岩ヶ崎小学校が現校地に移転したのは、明治18年11月のことです。その後、昭和9年には旧校舎の新築、平成13年の改築と2度の校舎改築を経て多くの卒業生を輩出してきた歴史ある岩ヶ崎小学校に「ありがとう」という感謝の言葉を添えて、来年度から生まれ変わる「学び舎」を見守って行きたいと思います。これからも多くの小学生が元気に笑顔で学べる学校になって欲しいと願います。

昭和53年度卒業 菅原 敬司

私は昭和53年度の卒業です。入学当時の校舎は床の雑巾がけで油断をすると、手や足にトゲが刺さる赤瓦の木造2階建ての旧校舎でした。後に床の張替えがあって、手や足にトゲは刺さらなくなりましたが（笑）。春は桜が美しく、夏はプールで泳ぎ、秋には銀杏の実を拾って、冬にはコークスが燃料のダルマストーブで暖をとり、春夏秋冬6年間、元気に通ったものでした。

今思えば一字の荘厳な校舎だったとつくづく思います。中央の職員玄関から望





岩ヶ崎小学校閉校に寄せて

昭和54年度卒業 岩田 美和 (旧姓 菅原)

我が母校の閉校の知らせを聞き、正直とても淋しい思いでいっぱいです。

明治6年からの歴史ある学び舎は、いついつまでも卒業生は勿論のこと、地域の方々の誇りであり、町のシンボルのような存在です。帰る場所がなくなってしまうような複雑な思いもありますが、校舎や場所がなくなってしまう訳ではないとの事ですので少し安心致しました。校名も栗駒小学校と決まり、また新たな歴史のスタートです!!

未来ある子供達の夢や希望を育む学び舎として、これからも変わらず忘れられない「母校」となりますようご期待申し上げます。

私も、卒業して早33年となります。

思い出は断片的ではありますが、不思議と校歌は歌えるものです。伊達の歴史スポットとしても有名な鶴丸城から校章も鶴のマークだった事も覚えています。私がお世話になった6年間は、まだ木造校舎の時代だったため、今では映画のワンシーンのように、その頃の佇まいが脳裏に焼きついています。私の中では、あの木造校舎は世界遺産と言っても過言ではありません。校舎のまん中の大きな階段の手すりは、年季が入ってピカピカで大きな古時計があった事……。冬は木炭の薪ストーブで日直になると、朝、木炭小屋に行き手を真っ黒にして教室まで運び、新聞紙や薪にマッチで火をつけ白い煙にむせながら教室を暖めた事……。今の時代では考えられない経験ばかりでした。放課後の掃除では廊下を雑巾で水拭きしトゲを刺した事も今では良い思い出です。校庭の桜、運動会、学芸会、裏山でお弁当を食べた事もあったな……。大好きな大好きな母校、岩ヶ崎小学校！見た目や名前、校歌が変わっても私達卒業生の中には永遠に生きています。アルバムをあければ、ずーっとそこには変わらない岩ヶ崎小学校があるから故郷に帰りたくなかった時には、そっと開いて心の真ん中をポツと温めています。長い間ご苦労様でした。そして沢山の思い出をありがとう。



宝物

昭和61年度卒業 佐藤 智章

岩ヶ崎小学校の長い歴史に幕を閉じることは、母校が閉校される残念で寂しい気持ちで一杯ですが、三校の統合により新しい学校になることに期待を感じ、むしろ喜ぶべきことだろうと自分に言い聞かせたところでした。

♪朝風かおる岩ヶ崎 歴史を誇る♪懐かしの校歌全部歌えたと少し自慢げに思っていたら、「父ちゃん間違ってる」(ガックリ) 3年生の息子からの指摘、どうやら3番まである歌詞が入り混ざって歌っていたようでした。私が岩ヶ崎小学校を卒業したのが昭和62年、25年も前、さすがに記憶も薄れ、曖昧になっている。それではまずいと卒業アルバムを探しだし何十年ぶりかにかきました。ページをめくる度に懐かしさと記憶が鮮明に蘇ってきました。楽しかった思い出に耽っていると、又もや「父ちゃん丸坊主じゃん」と、笑う息子。当時は男子の多数が坊主頭、女子は聖子ちゃんカット風、時代を感じる。児童数も96名と多く3クラスに分かれており、クラス対抗の球技大会などは大いに盛り上がった。沢山の友達、仲間と出会い笑いながら過ごした6年間は何といても一番の思い出でしょうか。

校舎は旧校舎でかなり古い建物でした。なんと低学年の時はストーブ当番というのがあり、校舎の脇に山積みされたコークス(石炭の様な燃料)をバケツで教室まで運びストーブにくべる。今思えばかなり貴重な体験をした。その他にも廊下でスライディングをすると太いとげが刺さったり、トイレや理科室、音楽室などは怪談話につきもので岩小の7不思議、そんな伝説もあった。6年生で学校に合宿した時は肝試しさながらの雰囲気でした。

修学旅行、クラブ活動、出店も来ていた運動会、青春のカードだし等々、尽きない思い出と仲間達やお世話になった先生方、これまでご尽力された総ての人に感謝したいと思います。ありがとう岩ヶ崎小学校。



マラソン大会 (昭和60年)



思い出

平成元年度卒業 平田 哲

私が岩ヶ崎小学校を卒業して20数年が経っている。今、再編とはいえ閉校という形をとる事に少しさびしい気持ちがある。小学校1年生の時父の仕事の関係で栗駒に引越してきて、約6年間通った学校だ。6年間の思い出をふり返ってみると、スポーツと遊びの毎日だったような気がする。まずは毎年行われる運動会。前日の夜は小学生ながらもものすごく緊張してなかなか寝れなかった事を覚えている。かけっこや障害物レース、リレーなど1位を取りたくてがんばって走った。次にマラソン大会。これも前日の夜は緊張していた。確か2kmくらいだったような気がするがものすごく長く感じ、走っている途中何度もあきらめかけた。だがマラソンに関しても1位を取りたくて苦しいのをこらえて走ったものだった。次に栗駒町の陸上大会。私は1000mとリレーの選手、そしてキャプテンに選ばれ大会が近づくとも毎日練習したものだ。私の学年は素晴らしい選手が多数そろっていて、栗駒町、そして栗原市（当時は栗原郡）の陸上大会でも総合優勝を達成することができた。他には友人の誘いでサッカー少年団に入り、こちらも練習にはげんでいた。



運動会（昭和63年）

遊びも様々な事をしてきた。当時流行していたのが「カード出し」と呼んでいたメンコみたいなもので、牛乳ビンのふたやカードを用いて休み時間に遊んでいた。そして大流行したビックリマンチョコのシールでもよく遊んでいた。当時は近くのお菓子屋さんで毎日通ったものだった。

このように岩ヶ崎小学校の頃の私はとても活発にすごしていた。活発すぎて当時指導して下さった先生方には大変な思いをさせていたと思う。だが一日一日が大切な思い出であり、閉校となっても岩ヶ崎小学校の卒業生の一人である事はとても喜ばしい事だと思う。

岩ヶ崎小学校の思い出

平成3年度卒業 鈴木 由美（旧姓 佐藤）

「思い出かあ。」なんて簡単に返事をしてしまったんだろう……。今更後悔。でも、すごくありがたく感じました。まさか、この私が岩小に対する思い出を書く事になるなんて思ってもみませんでした。

それも記念に残る大切な文集に。

多々読み苦しい点あると思いますがお付き合い下さい。

その当時は何も考えず通った学校。今思えば桜のきれいな学校だったな。桜の次はつつじ、そしていちよう。秋はぎんなんの匂いに苦しみました。それは今も受け継がれているみたい。子供達が「ぎんなん臭い」と言っていました。なんかうれしいな。自分達と同じ気持ちを今も感じられているってなんかいいな。

校舎なんかぼろぼろで雑巾がけなんてしたらとげだらけになる廊下。隙間風なんかあたりまえ。トイレは臭いし、教室まで臭ってきたかも。考えれば考える程「校舎に対しての良い思い出って……ないの？」と疑問。



校舎とイチヨウ

子供の頃は「もっと新しい学校がいいな」とか思った事も正直ありました。でも今思えば、古い校舎で良かったと思います。新しい校舎では体験できない事ばかりが今思い出として残っているから。卒業してから岩小の事を思い出す事もなかなかなかったけど、今子供達と一緒にまた岩小に関わるようになって、慣れない校舎を歩くたびに心のどこかで面影を探してしまいます。そして子供達にも見せてあげたかったなあ最近思うようになりました。年取ったんだなあ。

そんな岩小の名前までなくなってしまうのは本当に寂しいです。寂しいけどしょうがない。今度は子供達が思い出を作る番。新しい名前になった校舎で新しい友達とたくさん思い出を作ってほしいです。最後にこの場を借りて当時お世話になった先生方、保護者の皆様、本当にありがとうございました。そして現在子供達を見守って下さっている先生方、これからもよろしくお願い致します。



歴史の継ぎ目

平成12年度卒業 千葉 由里香

私くらいの歳の同窓生が「岩小の思い出」と言われて真っ先に思い浮かぶのは、建て替え中の校舎で過ごした日々の事ではないでしょうか。そう、私が卒業した平成13年は、現在建っている校舎が完成した、記念すべき年でもありました。

私たちが小学生の前半を過ごしたのは、築60数年の歴史ある校舎でした。雑巾がけをすれば手にトゲが刺さるし、窓枠のレールは陽の光で熱されて、触ると火傷しそうなほどでした。冬には教室の真ん中に巨大な石油ストーブが出現し、その上で牛乳を温めたものです。

そんな平和な日々に変化が訪れたのは、5年生の頃だったのでしょうか。ある日学校に行くと、校舎が真っ二つに切断されていたのです…と言うと大げさですが、校舎の建て替えが決まった時に卒業生の方々から「岩小は、やはり丘の上のあの場所でなければ」という声があったようで、半分壊してそこに半分建て、もう半分を壊して残りを建てるという方法がとられることになったのです。私たちは建て替えの間、半分になった校舎の中で過ごすことになりました。



旧校舎とプレハブ

校庭には足りない教室を補うプレハブが建てられ、旧校舎とプレハブ、新校舎をつなぐ渡り廊下は迷路のようでした。5年生の時は半分残った旧校舎で、6年生の時には半分完成した新校舎の音楽室で、授業を受けました。そんな生活は、大人目から見れば「不便」だったかもしれませんが、小学生だった私たちにとっては、次々に起こる非日常の出来事がとても楽しかったのを覚えています。私の家には今でも、記念にもらった旧校舎の屋根瓦と、教室の壁板の破片を、大切に保管してあります。

こうやって様々な歴史とともに受け継がれてきた「岩ヶ崎小学校」の名前が無くなってしまふ事は、本当に寂しく、名残惜しいです。しかし、その校舎は新しい小学校として新たなスタートを切るようですので、岩小の歴史と一緒に、大切に引き継がれていくことを願っています。

ありがとう！！我が母校、岩ヶ崎小学校。。。

平成17年度卒業 佐藤 智輝

私が岩ヶ崎小学校を卒業してから、7年が経ちましたが当時のことは今でも昨日のことに鮮明に覚えています。入学したのは平成12年の4月です、今のような立派な校舎ではなく、古くてボロボロで、でもどこか懐かしさのある校舎でした。古くて大きな建物を見たことがなかった私は、「さあ探検だ〜！！」と言って校内を走り回って、いろんな教室に入り込んだりして、いつも先生に怒られていました。入学から数ヵ月後には、校舎建替え工事のためのプレハブ校舎が校庭に建ち、解体工事が始まりました。私は旧校舎で過ごした最後の1年生となり、新校舎で最初に授業を受けた児童の中の一人となりました。長い歴史の中で建替えという大きな出来事に立ち会えたことも、素晴らしい思い出です。

新校舎での学校生活は楽しいことばかりでした。教室も廊下も全部ピカピカで気持ち良いし、プレハブ校舎が解体され校庭が広くなり、校舎周りも整備されたので、毎日豊かな自然に触れながら、下校時間までサッカーをしたり、虫捕りをしたり、本当に居心地が良くて学校で過ごす時間が長くなりました。それが当たり前だと思って過ごしていましたが、とても素晴らしい環境で学校生活を送っていたんだなあと、今、しみじみ思います。

私にとって岩ヶ崎小学校での思い出は一生の宝物です。岩ヶ崎小学校で過ごした6年間があるからこそ、今の私があるのだと思います。私に限らず、小学校の6年間というのは、人間形成の大部分を占める人生で一番大切な時間であり、沢山の思い出を作る時間だと思います。私たちにその沢山の思い出をくれた、岩ヶ崎小学校が閉校してしまうのはとても残念で悲しいことですが、岩ヶ崎小学校という校名が無くなっても、私の心の中、そして数多くの卒業生の皆さんの心の中に、母校の思い出として残っていくと信じています。



思い出の階段



ありがとう、岩小

平成19年度卒業 糟川 咲帆

岩ヶ崎小学校が今年度で最後になってしまうと知り、寂しい思いと思い出が私の中で溢れました。6年間、いつも私達の成長を見守ってくれていた岩ヶ崎小学校。そんな小学校との思い出は、数え切れないものです。そんな中、私が岩小で最も好きな所を挙げるとすれば、何処にいても繋がっていると思える所です。私は小学生だった頃、校内で鬼ごっこをして遊ぶのが好きでした。(いけない事ですが・・・)くるっと回る事の出来る形状で、ずっと走り回っていました。図書室ではなく図書コーナーとしている所からも、孤独感を感じないというか校舎に包まれているような暖かい空間であり、私はとても好きでした。

また、四季を感じられる行事が楽しかったなと思います。春はお花見、夏は七夕、秋は紅葉などなど。先生・児童と校舎と植物達が一緒になって楽しんでるように思えて好きでした。こういった行事は、なかなか他校には無いので、岩小の魅力で自満です。

さて、たいしたエピソードも書けなかった私ですが、私なりの岩小への愛が表せたと思います。楽しい思い出も、辛い思い出も、怒られた思い出も、褒められた思い出も。そんな沢山の感情と思い出は、私と岩ヶ崎小学校に刻まれているのだと思います。岩小を訪れたらその時の記憶が蘇ってくるのでしょうか。

最後になりますが、岩ヶ崎小学校、今までお疲れ様でした。名前が変わってしまうけれどあなたの暖かさは変わりません。これからも沢山の子供達の笑顔と笑い声が絶えない素敵な小学校でいて下さい。

私は、岩ヶ崎小学校の児童で本当に良かったです。岩小大好き！！



七夕集会 (平成19年)

岩小で得たもの

平成19年度卒業 大江 美鈴

私は、平成14年4月に岩ヶ崎小学校に入学しました。その年は、例年よりも桜の開花が早く、入学式に桜が咲いていたことを覚えています。満開の桜に木造風の現校舎は、市内でも自慢のできる桜の名所ではないでしょうか。

さて、今回閉校記念誌への原稿依頼を受け、久しぶりに卒業アルバムを開いてみました。表紙に写る同級生の写真や思い出の作文をみると、当時のことをとても懐かしく思うとともに、たくさんの思い出が蘇ってきました。運動会、学芸会、修学旅行、花山合宿、スキー教室、七夕集会、音楽朝会、そして6人の担任の先生や多くの先生方との出会い、どれも私にとっては大切な思い出です。

校歌の2番の歌詞に「むつみ我等は はげむなり」という一節がありますが、私はこの歌詞が大好きです。これは「みんな仲良くいろいろなことを学び合う」というような意味だと思うからです。同じ学年だけでなく誰もがお互いに助け合い、協力しながらいろいろな活動に取り組む、これが岩ヶ崎小学校の良さだと思います。私は、陸上大会や水泳大会の練習、学芸会の練習など様々な活動を通して、苦しいことも、辛いことも、仲間と一緒に頑張れば楽しいことになるということを学んだような気がしています。私は高校生になった今でも、小学校時代の友人と話をすると不思議なほど安心し、心強く感じます。信頼できる友達がたくさんいたことも、私にとっては宝物です。

岩ヶ崎小学校での6年間は楽しいことばかりで、まだまだここには書ききれないほどたくさんの思い出があります。そんなたくさんの思い出のつまった岩ヶ崎小学校が閉校するのはとても寂しいですが、新・栗駒小学校で学ぶ皆さんも、新しい学校で私のようにたくさんの友達とたくさんの思い出を作ってほしいと願っています。



スキー教室 (平成19年)



岩ヶ崎小学校さようなら そしてありがとう！！ 1年1組20名より

- | | | | |
|---|--|---|---|
|  | いわがさき小がっこうといわがまえ
かなくなるのがさみしいです。2ねん
せいになってもがんばりたいです。 |  | 2ねんせいになっても
いわがさき小がっこうのことを
おすれません。 |
|  | ぼくは、いわがさき小が
ごうといわがまえで
がんばりたいです。 |  | がっこうのなまえがかわ
るけど、あたらしいがっこう
もがんばりたいです。 |
|  | いわ小がなくなるのはかな
しいです。あたらしいがっこうで
もあともだちでがんばりたいです。 |  | あたらしいがっこうでも
みんなとがんばります。 |
|  | がっこうのなまえがかわ
るけど、あたらしいが
っこうでもがんばります。 |  | いわがさき小はたのしか
たでも、あたらしいが
っこうでもがんばります。 |
|  | いわがさき小のなまえが
かわるなんてさびしいけど
がんばります。 |  | いわがさき小が、ごうではお
もいでがたくさんでまじっ
2ねんせいになってもおすれせん。 |
|  | こうていをはいたり、すべりだ
いでおそんだりしました。プールでは、もく
ることができるようになりました。 |  | いわ小のなまえがかわ
るのはさみしいけど、2ねん
せいでもがんばります。 |
|  | いわがさき小が、ごうはた
くたのしかつたしおもしろかつ
たです。 |  | あたらしいがっこうでも、
ともだちたくさんつくりたいです。 |
|  | なまえがかわるのさ
みしいけど、またと
もだちぶせしたいです。 |  | いわがさき小が、ごうあ
りがとう。2ねんせい
もがんばります。 |
|  | なまえがかわるのさ
みしいけど2ねんせいにな
ってもがんばります。 |  | いわ小はたのしかた
です。あたらしいが
っこうでも
がんばります。 |
|  | いわ小がなくなるのさ
みしいけど、ともだちいっ
ぱいできるといいな。 |  | いわ小がなくなると
さみしいです。またいっ
ぱいともだちをつくりたいです。 |



ありがとう！岩ヶ崎小学校

2年1組35名より



ありがとう岩小
うんどう会のおかげでいそいそ
になったのがうれしか。たてま



ありがとう岩小
さん数のべんぎょの産み
さんがはやくなれたありがとう



もうもいばいばい
ばりましたありがとう
ごさりました。



いつもありがとう岩小。
テレビは学本までいいね。
音楽もがんばりました。



ありがとう岩小
これからもきれいで
いてね



教室ろうじをばんは
りました。今までお
かてどうごさりました。



夏休みにおよげる
おにぎりやういすや
おにぎりやういすや



ありがとう岩小
ううがないっしょういす
い、もういっしょういす



毎日色とりどりの木が
ありがとう



かいたくていい女
れたよ。今まであり
かてどう。



おやかがうさぎは
した。岩小ありがとう
う。



さん学生の計さんか
とくいになったよ。
いっばいもきれいなね。



はやく走れるよにな
りました。
ありがとう岩小。



岩小 ありがとう。
うんどう会でいいになったよ。
すてい、いい学校でいてね。





これからも
きれいな
学校でいてね





ありがとう岩小
うんどう会 でのい
になりましたあがび






 ありがとう岩小
 うんどう会でいいに
 なりましたありがとう



 岩小で、国語を
 して楽しかったです
 これからもきれいでいてね



 うんどう会でいいに
 りました。
 ありがとう岩小。



 生活のべんきょうが
 楽しかったです。いままであり
 げです。



 今までじょうぎと
 うきまもってくださり
 ありがとう。



 いつでもきれいな
 学木交えていてね。
 ありがとう。



 そうじやがんだらあ
 りがとう。これからきれ
 いでいてね。



 本言表みが上手に
 になりました。
 ありがとう岩小。



 岩小でなわとびや、
 走るのが楽しかった。
 これからきれいでね



 これからきれいな名前
 きれいな学木交えていてね。
 これからもよろしく。



 2年間 ありがとう。体育
 かんが、本そんだとが楽し
 かった。だから岩小としよう



 これからもきれいな
 学木交えていてね。
 そういづかん！ま



 うんどう会で他と、たよ。
 他にだらせたい他と、たよ
 いまでもピカピカでいてね



 休みじかん友だちとあそ
 んだことが楽しかったです。
 岩小ありがとう


 本を借りて読んで
 したのが楽しかった。
 ありがとう


 2かいの本をかりてみたよ
 きおもしろい本でいっぱい
 でした。岩小ありがとう。


 前でハトをみつけたよ。
 なまえ、ボツボ。
 前たのしいよ


 まいにちこのしかなかった
 ぼくは、がっこうすきだ
 よ。ありがとう。


 せんせいがあきだよ。
 がっこうでいろいろできた
 よ。ありがとう。



T E N N A





ありがとう
&
さようなら

岩ヶ崎小学校の思い出

3年

ぼくは今年クロール50mと平泳ぎ25m泳ぎました。来年はクロール75m泳ぎたいです。

わたしは、今年の夏休みに毎日たりに来て32回入りました。泳ぎをとても楽しくなりました。

わたしは池のプールで25メートル泳げたいです。来年は、毎日プールで200mを練習します。

ぼくは、岩小のプールで初めて50m泳げるようになった。これから泳ぐ。

わたしは夏休みプールで25メートルクロールで泳いで来年水泳がすくなく泳げるようになる。

わたしは、100m泳げるけど来年は、毎日プールで200mを練習します。

1年生から3年生まで10回休まなくて、学業が通ってよかったです。

わたしは岩小に入ってから算数が好きになりました。そして手をとって喜んで発表できました。

わたしは大プールで25メートル泳げるようになりました。来年は、50メートル泳いでみたいです。

ぼくは夏休みプールに来て25m泳いでいたが、50m泳げるようになったので、タイムを奪って早く泳げるようになりたいです。

わたしはうんでいでおぼろになりました。全ういけるようにがんばりました。

わたしは、3年生になってから九九を言えるようになりました。算数が好きになりました。

ぼくは岩小のきょう食が大好きです。いつも元気もらっています。

わたしは、岩小からかきう名前になるのは、とてもうれしい機会だと思います。

ぼくは、プールで50m泳いで、とてもうれしかったです。来年も頑張ります。

ぼくは岩小に入った時、いよいよ遊んだから、いよいよ友達がはいえました。これからまた友達を作りたいです。

わたしは夏休みプールに17日間くら来て25m泳げました。来年は50m泳ぎたいです。

ぼくは25mしか泳げなかったけれど、プール教室でがんばったからはじめて50m泳ぐことができました。

ぼくは、25mプールで泳げるようになったので、次は、平泳ぎで泳げようになりたいです。

わたしは25m泳げようになって、今度の4年生になったら50m泳ぎたいです。

ぼくは、1年生の時に転校してきました。みんながやさしくお話をしてくれて、うれしかったです。

ぼくは、25m泳げるようになりました。そして来年は50m泳ぎたいです。

わたしははじめて岩小のプールで25m泳ぎました。来年は、50mをめざしてがんばりたいです。

ぼくは、少し速く泳げるようになった。来年は、お友達のけいちゃんに負かさないように頑張ります。

友だちとなかよくサッカーであそんだことがたのしかったです。

パソコンの学習ゲームで「おたくさんクリア」できました。

あたらしくいりこま小学校で、おたくさん友だちをつくりたい。





ありがとう



岩ヶ崎小学校の思い出

4年生

この4年間でいろいろ
できるようになりました。
ありがとう。

岩ヶ崎小学校の仲間
ありがとう。がんばら
るわ。

今までありがとう。岩
ヶ崎小学校。楽しかったです。

学校に4年間いたのにな
るの悲しいです。でもがんばりま
す。

この学校仲間もいたのになど
です。でも頑張りますのでい
ます。

新しい小学校になるけど
岩ヶ崎小学校の跡はおすれ
ないよ。

今までありがとう。...
これからがんばります。

4年間の間勉強
させてくれてありがとう。

岩ヶ崎小のプールで平泳ぎ
ができてうれしかったです。

プールで25mプールと
せ泳ぎができるようになっ
たよ。ありがとう。

岩ヶ崎小学校から新しい小学校に
なるけどこれからもがんばります。

岩小でいっぱい勉強した
できるようになりました。今
までありがとう。岩ヶ崎
小学校ありがとう。

山小で77プールでたくさん
泳ぎました。名前がかわ
っても思い出は残ります。

岩ヶ崎小学校の4年間
とても楽しかったです。

この学校に4年間いて、25m
泳げるようになったよ。
ありがとう。

岩小ではなくなるけど
勉強ががんばります。

岩ヶ崎小学校がなくなると
勉強や運動が嫌よ。ありがとう。

いつも勉強をさせて
くれてありがとう!

岩ヶ崎小学校がなくなると
この4年間楽しかったです。

岩ヶ崎小学校で4年間の
間勉強させてくれてあ
りごと。

この学校に4年間いて
いろんな泳ぎができるよ
うになりました。

プールで50m泳げるよ
うになったよ。ありがとう。

これまで岩ヶ崎小学校で
いろいろあったけど、新
しい小学校でもがんば
ります。

岩ヶ崎のままがよかった。
栗駒になっても忘れ
ないよ。ありがとう。





来年は栗馬向小と鳥矢崎といっしょになるけど友達をいっぱい作りたいです。岩小5年間ありがとう。

岩ヶ崎小学校がなくなってしまうのは残念でも悲しいです。でも鳥矢崎小学校と栗馬向小学校の生徒といっしょに友達ができるようにしたいです。本当にこの学校がなくなるのはつらいです。

5年間すごしていた岩小がおわるのはかなしいけど新しい小学校になって友達をたくさんつくって新しい小学校にしたいです。

今年で岩ヶ崎小学校がなくなるけど5年間ありがとうございました。栗馬向小学校になっても岩ヶ崎小学校をずっとおすれなないです。栗馬向の人とも友達になりたいです。

来年は友達をいっぱいつくりみんなとがんばり心を合わせて勉強もがんばりたいと思います。

岩小のたくさんの思い出をおすれずに新しい学校でも思い出作りをしたいです。

岩ヶ崎小学校ではとても楽しいことがかりました。岩ヶ崎小学校は少しかわっちゃうけど岩小の伝統はぼく達で受けつぎます。

岩ヶ崎小学校ありがとう。5年間いろいろ楽しかったです。来年から栗馬向と鳥矢崎が岩小といっしょになってその人達と仲良く勉強もがんばりたいです。

岩ヶ崎小学校5年間ありがとうございました。来年栗馬向小学校になるけどいままでとおりにかんばりたいです。新しい友達も作りたいです。

岩ヶ崎小学校は今年で終わり栗馬向小学校になるのががっかりです。今までの思い出を忘れません。

さようなら岩ヶ崎小学校
そして未来に向かって

5年間運動会などいろんな行事ができてとても楽しかったです。新しい学校になっても仲よくしたいです。

岩ヶ崎小学校が栗馬向小学校になるけどしままでとおりにかんばります。来年は新しい友達をつくらせて勉強もがんばりたいです。

5年間岩小で過ごしてきたので新しい学校になっても友達をいっぱい作りたいです。

この学校の校歌や学校名がなくなるのはいやだけど、がんばって新しい友達かできたらいいし、新しい人との勉強や、行事を楽しくできたらいいと思います。

岩ヶ崎小学校がなくなるのばすごく残念だけどみんなをばなさないようにがんばります。お原真いします。

岩ヶ崎小学校の思い出も、なくなってしまうと思ひ、これからは今を楽しんで生活していきます。



岩ヶ崎小学校 いままで
ありがとう。岩ヶ崎小学校
じゃなくて、栗駒小学校
になってしまうのはさみしい
けど、校歌、思い出、せった
いおすれません。

転校してきてから2年間な
どしかいなかたけど、おは
しや、色々な行事をして楽し
かたです。新しい学校でも
1年間でいろいろ思い出を
作りたいたいです。

岩ヶ崎小学校に、2年間しか
いなかたけどいろんな行事をし
楽しかったです。
栗駒小と鳥矢崎小といっしょに
なっても友達と楽しい学校
生活にしたいと思います

私の5年間は岩ヶ崎の
伝統を守る事ができ
たけど、岩ヶ崎小学校が
栗駒小学校になるのか
ちょっと悲しいけど、栗駒小学
校と鳥矢崎小学校の友達
と最後の一年間をすごし
たいです。

岩小は来年栗駒小学校に
なるし友達も増えるからみ
んな友達になれるかは心配
だけどいままてと同じ
ようにみんなと遊んだり
勉強したりしていきたい
と思います。

いやなことあったけど
岩ヶ崎小学校で過ご
した5年間はほんとうに楽し
かったです。岩ヶ崎小学校が
なくなるのはさびしいけど
栗駒小学校になってもがんば
ります!!

栗駒、鳥矢崎小学校の
人たちが来るので仲良
くできるか心配だけど
がんばって仲良くできる
ようにしたいです。

岩ヶ崎小学校5年間ありが
とうございました。いろい
ろな思い出ができました。
来年栗駒小学校になら
ばがんばりたいです。

鳥矢崎と栗駒小がいっ
しょになっても友達をい
っぱい作りたいたいです!!
ありがとう岩ヶ崎小学
校!!

岩ヶ崎小学校が閉校して
しまうのは残念だけど、栗駒
鳥矢崎の友達と栗駒小学校
としてがんばります。
5年間ありがとうございました。

5年間感じします。
来年は岩ヶ崎小学校が
栗駒小学校になります。
でも私達は岩ヶ崎小学校
のままという気持ちで卒業
したいです。

5年間岩ヶ崎小学校で
勉強できて楽しかった
です。来年栗駒鳥矢崎
といっしょになるけど
みんなと仲良くしたい
です。

岩ヶ崎小学校が栗駒
小学校になるけど、私
達の心のなかでは、
いつまでも、岩ヶ崎
小学校です。

5年間見守ってくれてあり
がとう。6年生になっても
他の学校のみならず
仲よくなります!!
岩小がなくなっても忘れ
ません!

5年間ありがとう岩ヶ崎小学校。
来年から栗駒小学校になる鳥
矢崎小学校と栗駒小学校の
友達が来て友達と仲良くで
るようにしたい。

岩ヶ崎小学校で5年間、勉強し
てきてうれしいことや悲しいこ
とがあったけど岩ヶ崎小学校を
忘れません。
来年は友達が増えるけど仲良
しいです。

岩ヶ崎小学校は今年で最
後です。私はこの学校で5年
間勉強をしてきて楽しかった
ことや悲しかったことがありま
した。だけど岩ヶ崎小学校を忘れ
ません。





ありがとう！岩ヶ崎小学校 ～ぼくたち・わたしたちの母校～

みんなやりがあて
ケンカも少なくて
よい。

私の一番の思い出は
計画委員会の委員長に
なってはじめて、みんな
なをまとめたことです。

みんな1年生から6年生
までやさしくせしてく
れたのがうれしかった。

木々がきれいでも校庭が
広いところが女子き
です。

友達とは4年生ごろから
一気に仲良くなほせよ
なれたかは友達かてわだて
くれたのが友達は知れ
いま

岩小があて、
みんなと友だちになれ
よかったです。

岩ヶ崎小学校に入学したと
きにへやか木で作ってあ
たり、中庭があたり、とて
きれいでうれしかったです。

岩小のすきな所はあい
さつが元気な所です。
みんながあいさつをす
岩小が明るくなるので
大好きです。

岩小で1年から6年生ま
勉強し進んで、岩小
で勉強してよかったです。

岩ヶ崎小学校での思い出は
何事もなく毎日楽しい小
校生活をおく来たことです。
ありがとう岩小。

岩小の良い所は、桜が
きれいなところです。その
桜の木の下でお弁
当を食べます。

岩小のみんなが
笑顔でいれよかったです。

岩ヶ崎小学校の思い出は
一番楽しかったことはお花見弁
当です。岩小の桜はきれいで、弁
当も手作りでおいしかったです。

いつもあいさつをして
元気なところが岩小
の一番のよさです。

岩小で一番女子きなところ
はきれいな桜と広い
校庭です。

年に一度の運動会六年生の香
ぼくは団長になった。白組は
今まで一度も赤組に勝た
なかったけど運動会で勝ち。

給食が美味しくて、
みんなが明るくて元
気なところが岩小の好
きなところよ。

運動会でみんな
いっしょにがんばった
ことが
思い出です。

岩小は桜がきれいでも
児童はつねに笑顔
で伝統もあり楽しい
岩小です。

一年生といっしょに
楽しく遊べて楽し
かったことです。

友達といっしょに
遊んだり
勉強したことが
一番の思い出です。

岩小の良いところはみ
んなあいさつをはきり
しているところです。
そんな岩小が大好きで
す！





木製ブランコにて（昭和初期）



昭和32年

授業風景



昭和57年



平成11年



完全給食開始



平成3年

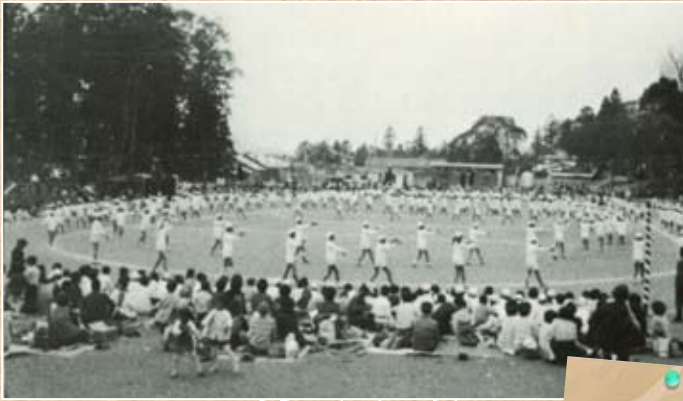
給食風景



バイキング給食（平成23年）



テーブルマナー教室（平成23年）



栗駒音頭 (昭和 37 年)



鶴丸城の決戦 (昭和 51 年)

運動会



昭和 58 年



平成 23 年



北部小学校体育大会 (昭和 58 年)



郡陸上大会 (平成 15 年)

体育大会



マラソン大会 (平成 4 年)



スキー教室 (平成 19 年)



昭和 35 年



劇 バンナナととの様 (昭和 53 年)



昭和 57 年



昭和 60 年

学芸会



平成 7 年



昭和 40 年

修学旅行



昭和 63 年



平成 22 年



旧栗駒町新庁舎落成記念パレード（昭和36年）



100周年記念式典



旧校舎プール



みやぎ国体相撲競技開会式（平成14年）



旧校舎中央階段での休み時間



旧校舎お別れパーティー



国際交流（平成6年）



つつじ咲く学び舎



高等科第1回卒業生（明治44年）



「赤い實」購読児童記念写真（大正15年）



昇降口の前で（昭和初期）



昭和10年



昭和30年



昭和41年



入学児童（昭和28年）



入学式集合写真（平成元年）



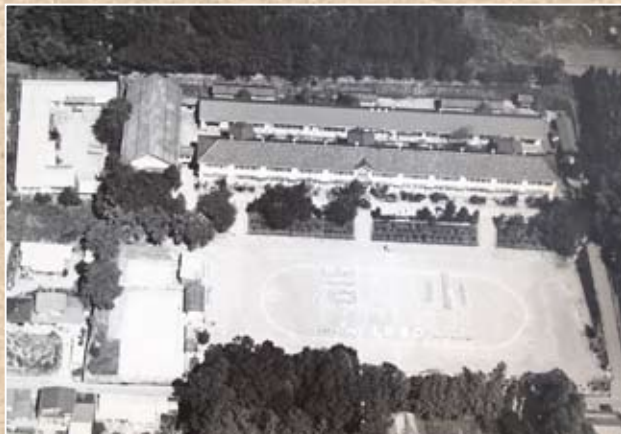
新築の校舎（明治18年）



航空写真（昭和20年頃）



航空写真（昭和48年）



航空写真（昭和55年）



航空写真（平成8年）



桜咲く旧校舎



旧校舎中央階段



現校舎 航空写真（平成17年）



編集後記

栗原市立岩ヶ崎小学校
教頭 阿部 陽介

閉校記念誌発行にあたり、作成委員会を立ち上げて内容と執筆者を検討しました。できるだけ多くの方から当時の思い出を寄せていただきたかったのですが、紙面の関係で一部の方々を選ばせていただきました。ご寄稿いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

寄せられました原稿のいたるところに、岩ヶ崎小学校に対する熱い思いが込められていました。岩ヶ崎小学校がこんなにも強く、人々に愛され続けていることに、改めて母校・岩ヶ崎小学校の存在感の大きさを感じました。岩手・宮城内陸地震と東日本大震災の2度の大地震にしっかりと耐え抜いた岩ヶ崎小学校の校舎。品格と重厚さをただよわせるこの校舎は、ここで学ぶ子どもたちをこれからもやさしく見守り続けてくれることでしょう。岩ヶ崎小学校に寄せていただきましたご厚情を、新生「栗駒小学校」に対しましても末永くお願い申し上げます。



栗原市立岩ヶ崎小学校閉校記念誌

発 刊 平成25年3月
発 行 栗原市教育委員会
企画・編集 栗原市立岩ヶ崎小学校



